FMV-BIBLO

B3FH-5051-02

パソコンを
ふりだしにもどす

「リカバリCD-ROM起動ディスク」の
コピーを作る

ハードディスクの
領域を設定する

パソコンを ふりだしに もどす本

リカバリCD-ROMを使ってパソコンを
ご購入時の状態に戻す方法について
説明しています。

6

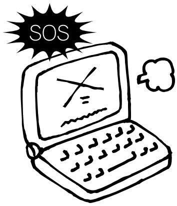
FUJITSU

本書のご案内

トラブル発生！そんなときは
自分のデータをバックアップしたあと、直りそうなことをなんでも試してみましょう。「もう、なにをしても直らない…」となったら「リカバリ CD-ROM」を使ってふりだしにもどします。簡単にご購入時の状態に戻ります。

パソコンをふりだしにもどす

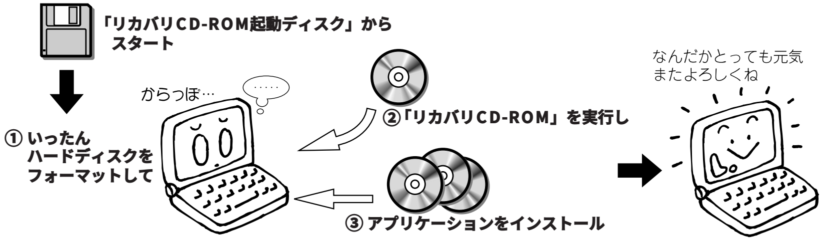
●こんなときに行います



・Windows98 が起動しない
・パソコンの動きがおかしい

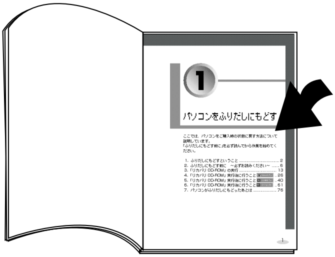
など、原因はわからないけれどパソコンが動かない、とにかくご購入時の状態に戻したい、というときに行います。

●こういうことをします



●ここから始めます

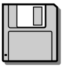
「パソコンをふりだしにもどす」（••▶P.1）からお読みください。
大切なことが書いてあります。



このページから順番にお読みください。

本書の表記について

本文中の記号について

重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
確認	操作する前に確認していただきたいことを記述しています。必ずお読みください。
アドバイス	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	手順が分かれる場合などに、次に進む箇所を示しています。
••▶	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。□の中に番号がある場合は、マニュアルの表紙の番号を示しています。
	CD-ROMを表しています。
	フロッピーディスクを表しています。
Wordモデル	Wordモデルをお使いの方に読んでいただきたいことを記述しています。
一太郎モデル	一太郎モデルをお使いの方に読んでいただきたいことを記述しています。
OASYSモデル	OASYSモデルをお使いの方に読んでいただきたいことを記述しています。

画面例および入力例について

- 表記されている画面は一例です。お使いの機種やモデルによって、画面が若干異なる場合があります。
- お客様に入力していただく文字列（コマンドライン）などは、入力例の文字上にアミ　　をかけて表しています。
- 特に指定がない場合、英数字、記号は半角で入力します。また、大文字と小文字の区別はありません。
- 入力時に空白を入れる必要がある場合は、以下のように表しています。

  dir c:

  この場合は、「dir」と入力したあと、［　］（空白）を1回押し、続けて「c:」と入力してください。

製品の呼びかたについて

本書では、製品名称を次のように略して表記しています。

製品名称	本書での表記
Microsoft® Windows® 98 operating system	Windows98
Microsoft® Excel97 for Windows®	Excel97
Microsoft® Word98 for Windows®	Word98
Microsoft® Outlook™98 for Windows®	Outlook98
Microsoft® Draw98 for Windows®	Draw98
Microsoft®/Shogakukan Bookshelf® Basic	Bookshelf Basic
Lotus 1-2-3 98	1-2-3 98
ロータス ノーツ パーソナル	ノーツ パーソナル

機種名の表記について

FMV-BIBLO シリーズの各機種を次のように表記しています。

機種名	本書の表記	アイコン
FMV-BIBLO NEⅨ26X	NEⅨ26X	
FMV-BIBLO NEⅨ26	NEⅨ26	
FMV-BIBLO NRⅨ30L	NRⅨ30L	
FMV-BIBLO NRⅨ26X	NRⅨ26X	
FMV-BIBLO NSⅨ26X	NSⅨ26X	
FMV-BIBLO MFⅨ26	MFⅨ26	

目　次

本書のご案内

本書の表記について

第 1 章　パソコンをふりだしにもどす

1. ふりだしにもどすということ 2
- ふりだしにもどすことが必要な場合 4
- パソコンがふりだしにもどるまで 5

2. ふりだしにもどす前に　～必ずお読みください～ 6
- ファイルをバックアップする 6
- ファイル以外をバックアップする 8
- ご購入時の接続状態に戻す 9
- 必要なものを用意する 10
- その他の注意事項 11

3.「リカバリ CD-ROM」の実行 13
- BIOS の設定をご購入時の状態に戻す 13
- 「リカバリ CD-ROM」を実行する 16
- Windows98 のセットアップをする 20

4.「リカバリ CD-ROM」実行後に行うこと Wordモデル 26
- Excel97 のインストール 27
- Word98 のインストール 29
- Draw98 のインストール 31
- Outlook98 のインストール 32
- Bookshelf Basic のインストール 36
- モデル情報を設定する 37

5.「リカバリ CD-ROM」実行後に行うこと 一太郎モデル 40
- 一太郎 9 パックのインストール 41
- 1-2-3 98 のインストール 46
- ノーツ　パーソナルのインストール 53
- モデル情報を設定する 57

6.「リカバリ CD-ROM」実行後に行うこと OASYSモデル 61
- OASYS のインストール 62

7. パソコンがふりだしにもどったあとは 76
● バックアップしたファイルを復元する 76
● その他の作業 78

付録 1

1.「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のコピーを作る 82
●「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のコピーを作る理由..... 82
● 作業の流れ 83
● 用意するもの 84
●「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のコピーを作る 85

付録 2

1. ハードディスクの領域を設定する 90
● 設定の手順 90

1

パソコンをふりだしにもどす

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻す方法について説明しています。
「ふりだしにもどす前に」を必ず読んでから作業を始めてください。

1．ふりだしにもどすということ 2
2．ふりだしにもどす前に　～必ずお読みください～......... 6
3．「リカバリ CD-ROM」の実行 13
4．「リカバリ CD-ROM」実行後に行うこと Wordモデル .. 26
5．「リカバリ CD-ROM」実行後に行うこと 一太郎モデル .. 40
6．「リカバリ CD-ROM」実行後に行うこと OASYSモデル .. 61
7．パソコンがふりだしにもどったあとは 76

1

ふりだしにもどすということ

本書では、「リカバリ CD-ROM」を使ってパソコンをご購入時の状態に戻すことを「ふりだしにもどす」（または「復元する」）といいます。

本書に従って作業を進めていくと、次のようになります。

- **C ドライブにあるすべてのファイルは削除されます**

  初めにハードディスクの中身をフォーマット（初期化）するため、ファイルはすべて削除されます。ふりだしにもどすとご購入時のファイルは復元されますが、ご購入後にお客様が作成したファイルは復元されません。お客様が作成したファイルは、必ずバックアップしてください。

  また、お客様がご購入後にインストールしたアプリケーション（市販のアプリケーションなど）は、ふりだしにもどしたあとインストールし直す必要があります。

- **アプリケーションは一括して復元されます（一部のアプリケーションを除く）**

  「リカバリ CD-ROM」を実行すると、アプリケーションは自動的にご購入時の状態に戻ります。Windows98 のみを復元することはできません。

- **一部のアプリケーションはインストールが必要です**

  ワープロ、表計算などのアプリケーションは「リカバリ CD-ROM」からは自動で復元されません。「リカバリ CD-ROM」を実行後、本書にそって個別にインストールしてください。

アドバイス

「リカバリ CD-ROM」とは

パソコンをご購入時の状態に戻すために使用する、本パソコンに添付のCD-ROM です。本書で「リカバリ」(= Recovery)とは、パソコンを復旧するという意味で使用しています。

バックアップとは

万一のときに備えて大切なファイルを失わないために、ファイルをコピーして控えを取ることです。ハードディスクをフォーマットする前に、一時的にファイルを別の場所に保存することもバックアップといいます。

インストールとは

アプリケーションなどを使える状態にするための準備作業です。アプリケーションは必要なファイルをCD-ROMなどからパソコンにコピーして、設定します。

ふりだしにもどすことが必要な場合

次のような場合、パソコンをふりだしにもどしてください。

- **パソコンが正しく動作しない場合**
- **電源を入れても Windows98 が起動しない場合**
- **C ドライブをフォーマットしてしまった場合**

上記以外の場合でもパソコンをとにかくご購入時の状態に戻したい、というときに行います。

アドバイス

本当にふりだしにもどしてよいかわからないという場合
以下の項目を参考に判断してください。

- **まず 4『困ったときの Q&A』を読みましょう**
  4『困ったときの Q&A』には、パソコンのトラブルに関する具体的な事例が載っています。まず「Q & A」をご覧ください。
  また、使い始めからずっと起きているトラブルは、制限事項とも考えられます。『お使いになるうえでの注意事項』に該当する現象がないか確認してください。

- **次に「FMV 診断 Disc」でパソコンを診断してみましょう**
  パソコンを診断し、故障かどうか、どのような問題があるかをアドバイスします。「FMV 診断 Disc」の使いかたは 4『困ったときの Q&A』をご覧ください。

- **ふりだしにもどすのは困ったときの最終手段**
  「FMV診断Disc」でハードウェア上の問題が発見されず、お客様ご自身で解決できない状況になった場合、ふりだしにもどすことによってトラブルを解決することができます。ただし、いろいろと注意しなければいけないことがありますので、あくまでも困ったときの最終手段とお考えください。

パソコンがふりだしにもどるまで

パソコンがふりだしにもどるまでの流れは次のようになっています。
ふりだしにもどす前に、手順を確認してください。

ファイルをバックアップする ••▶ P.6

お客様の大切なファイルやインターネットなどの設定をバックアップします。

↓

ご購入時の接続状態に戻す ••▶ P.9

本パソコンをご購入後に、プリンタなどのオプション機器を取り付けた場合は、すべて取り外します。

↓

必要なものを用意する ••▶ P.10

「リカバリCD-ROM」など、ふりだしにもどすために必要なものを揃えます。

↓

「リカバリCD-ROM」の実行 ••▶ P.13

ハードディスクの内容を削除し、「リカバリCD-ROM」からご購入時のファイルを復元します。

↓

「リカバリCD-ROM」実行後に行うこと

- Wordモデル ••▶ P.26 Excel97、Word98、Draw98、Outlook98、Bookshelf Basicをインストールします。
- 一太郎モデル ••▶ P.40 一太郎9パック、1-2-3 98、ノーツ パーソナルをインストールします。
- OASYSモデル ••▶ P.61 OASYS、1-2-3 98、ノーツパーソナルをインストールします。

パソコンがふりだしにもどる

↓

パソコンがふりだしにもどったあとは ••▶ P.76

ふりだしにもどす前に保存していたファイルはどうすればよいか、インターネットに接続するには、など以前にお客様が使っていた状態に近づけるための方法をご紹介しています。

2 ふりだしにもどす前に　～必ずお読みください～

作業をスムーズに行うために、ここに書かれていることを必ず確認し、準備してください。

ファイルをバックアップする

パソコンをふりだしにもどすと、ご購入後お客様が作成したファイル、追加したアプリケーションなどがすべて消えてしまいます。お客様が作成したファイルは必ずご自身でバックアップしてください。またバックアップしたファイルはパソコンをふりだしにもどしたあと、同じ保存場所に戻すようにします。そのために、元のファイルの保存場所を、メモするなどして忘れないようにしてください。

「FM かんたんバックアップ」を使ってバックアップする

「FMかんたんバックアップ」を使うと、お客様が作成したファイルやメールデータなどのバックアップと復元が、簡単にできます。ここでは、「FMかんたんバックアップ」を使ってバックアップする方法を説明します。

重 要

バックアップしたファイルの保存先について

データの保存場所はご購入時「D:\FM_BACKUP」に設定されています。保存先は変更しないでください。ただし、「C」、「D」以外にハードディスクドライブが存在する場合に限り保存先のドライブを変更することができます。
ハードディスク以外にバックアップしたい場合は、「FM かんたんバックアップ」を使わず、ファイルをコピーしてバックアップしてください。

「FMかんたんバックアップ」でバックアップすることができないファイル

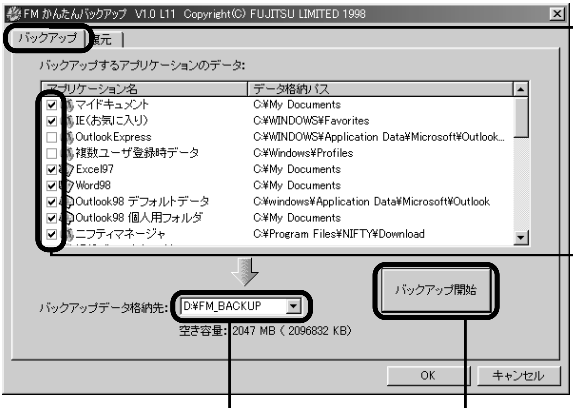
次のファイルは、コピーしてバックアップしてください。

- 「アプリケーション名」に登録されていないアプリケーションで作成したファイル
- 「データ格納パス」と違うところに保存されているファイル

1 起動中のアプリケーション（AUV など）をすべて終了します。

2 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「FM かんたんバックアップ」の順にマウスポインタを合わせ、「FMかんたんバックアップ」をクリックします。

3 ❶〜❹ の手順に従って操作してください。



❶「バックアップ」をクリック

❷バックアップしたいアプリケーション名をクリック（☑ にする）

❸「D:\FM_BACKUP」となっていることを確認

❹「バックアップ開始」をクリック

アドバイス

「バックアップを続けますか？」というメッセージが表示された場合

すでにバックアップデータが存在する場合、表示されます。「はい」をクリックしてください。

「XXXX のデータ格納パスにデータが存在しません。」というメッセージが表示された場合

「XXXX」にはアプリケーション名が表示されます。
そのアプリケーションを一度も使用していないと表示されることがあります。その場合は、「OK」をクリックしてください。

4 **しばらく待ちます。**
このとき、タブをクリックするなど操作は行わないでください。

5 **「バックアップ処理を終了しました。」と表示されたら、「OK」をクリックします。**

6 **「OK」をクリックします。**

7 **「設定を保存して終了します。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。**

「FM かんたんバックアップ」でバックアップできないファイルをバックアップする

バックアップしたいファイルを、保存先にコピーしてバックアップします。

ファイルのコピーについて ••▶ 1『かるがるパソコン入門』「ファイルは控えをとり、整理して保存しよう」

ファイル以外をバックアップする

インターネットの接続設定などは、メモしてください（ファイルとしてバックアップすることはできません）。

ふりだしにもどしたあと、再設定には ID やパスワード、メールアカウントなどの情報が必要になります。InfoWeb と契約している方は 3『はじめよう!インターネット』を、それ以外のプロバイダと契約している方はそれぞれのプロバイダから提供されているマニュアルをご覧ください。

ご購入時の接続状態に戻す

パソコンをご購入後に、お客様がプリンタなどのオプション機器を取り付けた場合、取り付けたままではふりだしにもどす作業が中止される場合があります。また、作業上は問題がなくても、Windows98のセットアップなどで、マニュアルに記載されている手順と異なってしまう可能性があります。パソコンをふりだしにもどすときは、ご購入時に添付されている機器以外は接続しないでください。

次のような接続状態にする

パソコンをふりだしにもどしている間はACアダプタを使用し、必ずコンセントから電源を確保してください。

NR NRⅨ30L/NRⅨ26X NS NSⅨ26X MF MFⅨ26をお使いの方は、フロッピーディスクとCD-ROMを使用できる状態にする必要があります。

取り付けかた••▶ 5『FMV 本体 & オプションガイド』

必要なものを用意する

次の CD-ROM やマニュアルが必要です。お使いのモデル名を確認し、●が付いている添付品を準備してください。

用意するもの / 実際に使用するもの	Wordモデル	一太郎モデル	OASYSモデル
リカバリセット	●	●	●
リカバリ CD-ROM 起動ディスク※			
リカバリ CD-ROM			
取扱説明書	●	●	●
Windows98 ファーストステップガイド	●	●	●
アプリケーション CD	●	●	●
Microsoft Excel97&Word98&Outlook98 CD-ROM マニュアルセット	●	−	−
Excel97&Word98&Outlook98			
Bookshelf Basic			
一太郎 9 パック　CD-ROM マニュアルセット	−	●	−
一太郎 9 パック			
登録はがきのシート			
OASYS　CD-ROM マニュアルセット	−	−	●
OASYS プログラムディスク			
OASYS V6.0 アップデートパック			
ロータス　CD-ROM マニュアルセット	−	●	●
1-2-3 98			
ノーツ パーソナル			

※「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」は、本パソコンに添付されていたもののコピーをお使いください。コピーを作成していない場合は、添付品をお使いください。

その他の注意事項

CD-ROM の取り扱いについて

- CD-ROM のセットのしかたなどはお使いの機種によって異なります。
  5『FMV 本体＆オプションガイド』で確認してください。
- CD-ROM をセットした直後に操作を行うと、パソコンが CD-ROM を認識せずエラーメッセージが表示される場合があります。セットしたあと、しばらく（10 秒ほど）待ってから次の操作へ進んでください。また、エラーメッセージが表示された場合は、少し待ってから「再試行」をクリックしてください。

CD-ROM ドライブ名を確認する

CD-ROMのファイルを実行するときには、CD-ROM ドライブ名を入力する必要があります。作業を始める前に、お客様がお使いの CD-ROM ドライブ名を確認してください。

なお、ご購入時の CD-ROM ドライブ名は「E」です。
CD-ROM ドライブ名はハードディスクの領域を設定し直した場合など、お使いの状況により変わります。

画面が真っ暗になった場合（省電力機能について）

パソコンが働いていない状態でしばらく放置しておくと、画面が真っ暗になることがあります。これは省電力機能が働いたためです。
画面が真っ暗になってしまったら、以下のようにして解除してください。

● **なにかキーを押す**

↑ ↓ ← → を押してください。
ただし、押されたキーはそのままパソコンに入力されますので、ご注意ください。

解除にむいていないキーの例

Esc、Y、N、Enter、[スペース] などは使わないことをお勧めします。

重 要

前後の手順をよく確認してください

「なにかキーを押してください。」と表示されているような状態で省電力機能が働いたときに、解除のためにキーを押すと、次へ進んでしまいます。省電力機能が働いたときの手順の前後をよく確認してから、省電力機能を解除してください。

● **SUS/RES スイッチを押す**

なにかキーを押しても、省電力機能が解除されない場合は、SUS/RES スイッチを1回押します。ただし、SUS/RES スイッチを4秒以上押し続けると電源が切れてしまいますので注意してください。

ハードディスクの領域が変更されている場合

次のような場合は、「リカバリ CD-ROM」が実行できません。

● ハードディスクに領域が存在しない
● C ドライブの容量が 2.5GB 未満に設定されている
● C ドライブが FAT16 に設定されている
● C ドライブがアクティブ（状態：A）になっていない

ハードディスクの領域を設定し直した場合など、正しく設定されているかよく確認してください。

••▶P.90「ハードディスクの領域を設定する」

3 「リカバリ CD-ROM」の実行

「リカバリ CD-ROM」を実行し、ハードディスクの中身を復元します。

重 要

ファイルのバックアップはお済みですか？

「リカバリ CD-ROM」を実行すると、ハードディスク（C ドライブ）の内容はすべて消えてしまいます。大切なファイルなどをバックアップしたか、再度確認してください。

••▶P.6「ファイルをバックアップする」

BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS セットアップを行い、設定をご購入時の状態に戻します。
BIOSの設定がご購入時と違っていると「リカバリ CD-ROM」が実行できない場合があります。

アドバイス

BIOS（バイオス） セットアップとは

BIOS セットアップとはハードディスクやフロッピーディスクドライブなど、ハードウェアの環境を設定するものです。

••▶ 5『FMV 本体＆オプションガイド』

1 パソコンの電源が入っている場合は、「スタート」メニューから一度電源を切ります。

アドバイス

「スタート」メニューから電源が切れない場合

NE NR　SUS/RES スイッチを 1 回押します。そのあと、もう一度 SUS/RES スイッチを 4 秒以上押して、電源を切ってください。

NS MF　MAIN スイッチを○側へスライドさせて電源を切ってください。

2　キーボードの F2 の位置を確認します。

パソコンの電源を入れたあと、すぐこのキーを押せるようにしてください。

3　パソコンの電源を入れ、画面の下に「〈ESC〉キーを押すと自己診断画面、〈F2〉キーを押すとBIOSセットアップを起動します。」と表示されている間に、F2 を押します。

しばらくすると、BIOSセットアップが始まります。

アドバイス

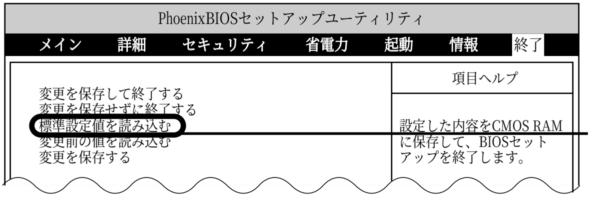
BIOSセットアップの画面が表示されなかったら

再度、手順 ***1*** からやり直してください。

4　Esc を押します。

「終了」メニューが表示されます。

5　↑ ↓ を押して、「標準設定値を読み込む」にカーソルを合わせ、Enter を押します。



（お使いの機種により異なります）

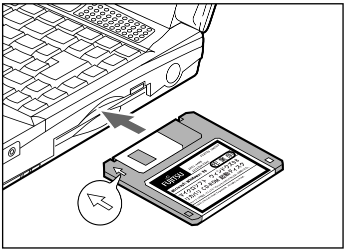
「標準設定値を読み込みますか？」というメッセージが表示されます。

6 「はい」にカーソルが合っていることを確認し、【Enter】を押します。

「いいえ」にカーソルが合っている場合は、【←】を押して「はい」に合わせます。

「終了」メニューに戻ります。

7 「リカバリ CD-ROM起動ディスク」をフロッピーディスクドライブに差し込みます。



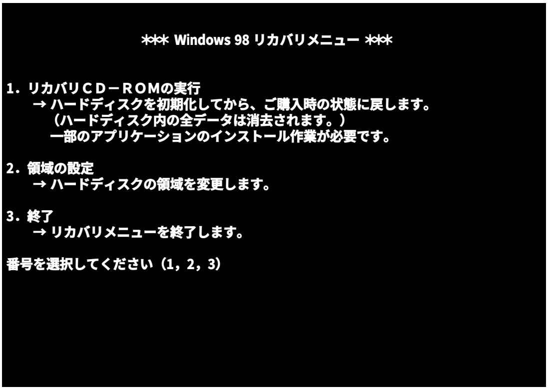
（お使いの機種により異なります）

8 【F10】を押します。

「変更した内容を保存して終了しますか？」というメッセージが表示されます。

9 「はい」にカーソルが合っていることを確認し、【Enter】を押します。

しばらくすると画面に「Windows98 リカバリメニュー」と表示されます。



＊＊＊ Windows 98 リカバリメニュー ＊＊＊

1．リカバリＣＤ－ＲＯＭの実行
→ハードディスクを初期化してから、ご購入時の状態に戻します。
（ハードディスク内の全データは消去されます。）
一部のアプリケーションのインストール作業が必要です。

2．領域の設定
→ハードディスクの領域を変更します。

3．終了
→リカバリメニューを終了します。

番号を選択してください（1，2，3）

アドバイス

メニュー画面が表示されない場合

- フロッピーディスクは正しくセットされていますか？
  状態表示LCDに[フロッピーアイコン]が表示されていないことを確認し、フロッピーディスクを取り出してください。
  再度、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットして、Ctrl と Alt を押しながら Delete を押し、パソコンを再起動してください。しばらくすると「Windows98 リカバリメニュー」が表示されます。
- BIOS セットアップの画面のままになっていませんか？
  BIOSセットアップが正しく終了されていません。Esc を何回か押して、手順 ***5*** の画面（••▶ P.14）を表示させてください。その後、手順 ***5*** から設定し直してください。

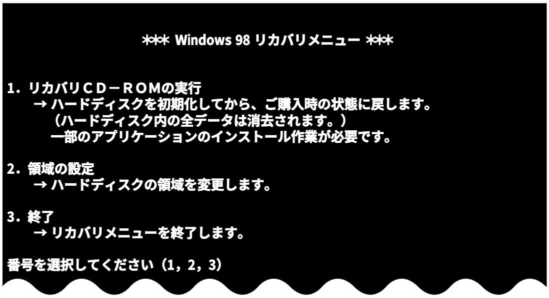
このあとは

••▶ P.16「「リカバリ CD-ROM」を実行する」

「リカバリ CD-ROM」を実行する

準備ができたら、「リカバリ CD-ROM」を実行します。必ず AC アダプタを接続して行ってください。

1 1 を押します。



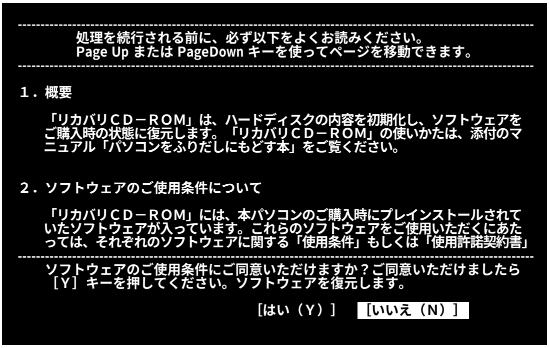
「リカバリ CD-ROM」についての説明が表示されます。

2 内容をよくお読みください。

重要

ソフトウェアのご使用条件について

それぞれのソフトウェアのご使用条件に同意していただけない場合は、パソコンの電源を切ってください。この場合、ハードディスクの内容は復元されません。



3 ソフトウェアのご使用条件に同意していただいた場合は、[←] を押して「はい」にカーソルを合わせ、[Enter] を押します。

アドバイス

「ソフトウェアの復元作業が中止されました。」と表示された場合

- オプション機器を取り付けたままにしていませんか？
  パソコンの電源を切り、オプション機器はすべて取り外してください。
  「「リカバリCD-ROM」の実行」（••▶P.13）からやり直してください。
- ハードディスクの領域が変更されていませんか？
  「ハードディスクの領域を設定する」（••▶P.90）をご覧になり、領域の状態を確認してください。

ハードディスクをフォーマット（初期化）します。

4 Y を押し、Enter を押します。

```
注意：ドライブC:　の
ハードディスクのデータはすべてなくなります.
フォーマットしますか（Y/N）?y
```

フォーマットが完了するまでしばらくかかります。
フォーマットが終了すると、「ボリュームラベルを入力してください。」というメッセージが表示されます。

5 ボリュームラベルは入力せず、そのまま Enter を押します。

```
注意：ドライブ C: の
ハードディスクのデータはすべてなくなります.
フォーマットしますか（Y/N）?y


フォーマットしています　x,xxx,xxx Mバイト
フォーマットは完了しました.
ファイルアロケーションテーブルに書き込み中です.
完了.
空き領域を計算しています（数分かかる可能性があります）...
完了.

ボリュームラベルを入力してください.
半角で 11文字，全角で 5文字以内
必要なければ，Enter キーを押してください :_
```

ボリュームラベルは
入力しないでください。
作業が中断されます。

「リカバリ CD-ROM」からファイルをコピーします。

6 「リカバリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。

セットする CD-ROM は機種により異なります。

NEⅨ26X/NRⅨ30L/NRⅨ26X
→「リカバリ CD-ROM1/2」

※CD-ROM が 2 枚ありますので途中で入れ替える作業があります。
　ファイルのコピーには、それぞれ 15 分から 20 分かかります。

NEⅨ26/NSⅨ26X/MFⅨ26
→「リカバリ CD-ROM」

※ファイルのコピーには、1 時間半から 2 時間かかります。

7 10秒ほど待ってから、[Y]を押します。

```
CD－ROMドライブに「リカバリCD-ROM 1/2」をセットし、
しばらくしたら「Y」キーを押してください.
中断するなら 「N」キーを押してください.
```

（お使いの機種により異なります）

ファイルのコピーが始まります。

アドバイス

作業が中止された場合

[Y]を押すタイミングが早すぎたり、CD-ROMを間違えたりすると、作業が中止されます。その場合は、CD-ROMをよく確認し、[Ctrl]と[Alt]を押しながら[Delete]を1回押してください。「Windows98 リカバリメニュー」が表示されますので手順*1*（••▶P.16）からやり直してください。

「FATタイプが一致しません.」と表示され、作業が中止された場合

ハードディスクの領域を設定し直してください。その場合は必ず、「大容量ディスクのサポートを使用可能にする」に設定してください。

••▶P.90「ハードディスクの領域を設定する」

```
<File>C: \IO.SYS
<File>C: \BOOTLOG.TXT
<File>C: \COMMAND.COM
<File>C: \AUTOEXEC.BAT
<File>C: \CONFIG.SYS
<File>C: \PIPOST.BAT
<File>C: \PRECLEAN.EXE
```

機種によって異なります。15分から2時間ほどお待ちください。

8 表示されている画面によって、操作が異なります。よく確認してお進みください。

```
CD－ROMドライブに「リカバリCD-ROM 2/2」をセットし、
しばらくしたら「Y」キーを押してください.
中断するなら 「N」キーを押してください.
```

↓

「リカバリ CD-ROM 2/2」をセットし、手順*7*から繰り返してください。

```
<ディレクトリエントリ情報>のリストアが終了しました。

正常にソフトウェアの復元作業が行われました。
A:\>_
```

↓

手順*9*へお進みください。

アドバイス

前頁のメッセージが表示されない場合

- 省電力機能が働いていませんか？
  ••▶ P.12「画面が真っ暗になった場合（省電力機能について）」
- オプション機器を取り付けたままにしていませんか？
  パソコンの電源を切り、オプション機器はすべて取り外してください。
  「「リカバリCD-ROM」の実行」（••▶ P.13）からやり直してください。

9 **フロッピーディスクとCD-ROMを、それぞれフロッピーディスクドライブとCD-ROMドライブから取り出します。**

10 **【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を1回押します。**

パソコンが再起動されます。

このあと、ご購入後初めて電源を入れたときと同じようにWindows98のセットアップが始まります。

Windows98のセットアップをする

Windows98のセットアップを行います。画面に表示されるメッセージに従って進んでください。ここでは、セットアップのポイントを簡単に説明しています。
詳しい操作手順は、『取扱説明書』をご覧ください。

1 **「Windowsのセットアップをする前に」という画面では【Esc】を押して先に進みます。**

アドバイス

次の画面に進めない場合

【Esc】を押したあと、手順**2**の画面が表示されないときは、フラットポイントに触れてみてください。

2 Windows98を使うための設定をします。

● ユーザー情報の入力

❶「名前」を入力（省略不可）
❷「会社名」を入力（省略可）
「名前」、「会社名」は、次に「リカバリCD-ROM」を実行するまで、変更することはできません。
❸「次へ」をクリック

● 「使用許諾契約書」への同意

❶「使用許諾契約書」の内容をお読みください
❷「同意する」をクリック
❸「次へ」をクリック

● 「プロダクトキー」の入力

❶ 『ファーストステップガイド』の表紙に印刷されている「Product key」の英数字を入力

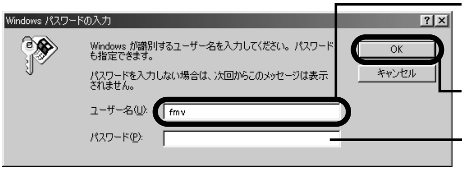
（表紙は変更されることがあります）

❷「次へ」をクリック

● 「完了」をクリック

3 本体の設定をします。

●「Windows パスワード」の入力



❶半角の英字で入力
ご購入時のセットアップでは「fmv」と入力しています。

❷「OK」をクリック

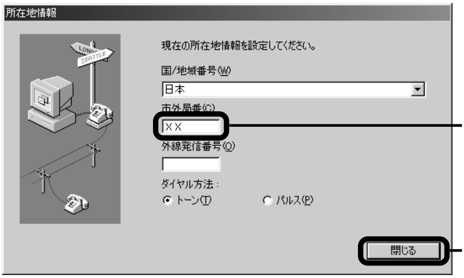
「パスワード」は、ここでは入力する必要はありません。パスワードを設定する場合は、セットアップが終了してから行ってください。

しばらくお待ちください。

●「日付と時刻」の確認

「閉じる」をクリック

●「所在地情報」の入力



❶市外局番を半角で入力

❷「閉じる」をクリック

●「ダイヤルのプロパティ」の確認

❶正しく登録されていることを確認

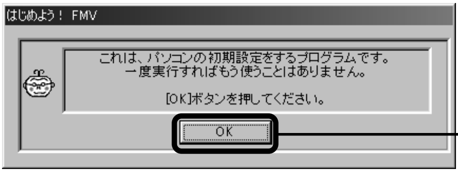
❷「OK」をクリック

Windows98 が起動します。しばらくお待ちください。

4 パソコンを使うための設定をします。

●「はじめよう！ FMV」をクリック

「はじめよう!FMV」をクリック

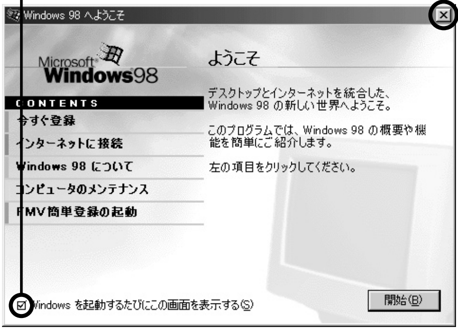


「OK」をクリック

「OK」をクリック

パソコンが再起動されます。しばらくお待ちください。

● 「Windows98 へようこそ」



❶クリックして□にする
❷ ☒ をクリックして閉じる

アドバイス

「Windows98 へようこそ」ウィンドウについて

「Windows98へようこそ」ウィンドウを再び表示させるときは、4『困ったときの Q&A』をご覧ください。
表示させる設定にしている場合は、以降のふりだしにもどす作業中は、パソコンを再起動後、必ずこのウィンドウを閉じてください。

次に、「リカバリ CD-ROM」では復元されないアプリケーションをインストールします。お使いのモデルに合わせ、「「リカバリ CD-ROM」実行後に行うこと」にお進みください。

このあとは

Wordモデル

••▶ P.26 4 「「リカバリ CD-ROM」実行後に行うこと」

一太郎モデル

••▶ P.40 5 「「リカバリ CD-ROM」実行後に行うこと」

OASYSモデル

••▶ P.61 6 「「リカバリ CD-ROM」実行後に行うこと」

4 「リカバリ CD-ROM」実行後に行うこと Wordモデル

次のアプリケーションは、「リカバリ CD-ROM」から復元されません。
ご自身でインストールしてください。

アプリケーション名	使用する CD-ROM
Excel97（表計算） ••▶ P.27	「Excel97&Word98&Outlook98」
Word98（ワープロ） ••▶ P.29	
Draw98（画像加工） ••▶ P.31 「Excel97」、「Word98」、「Outlook98」と一緒に使用するため「Draw98」のみのインストールはできません。	
Outlook98（情報管理） ••▶ P.32	
Bookshelf Basic（マルチメディア統合辞典） ••▶ P.36	「Bookshelf Basic」
情報設定（機種、モデル情報の登録） ••▶ P.37 **※必ず行ってください**	「アプリケーション CD」

アドバイス

インストールする順番について

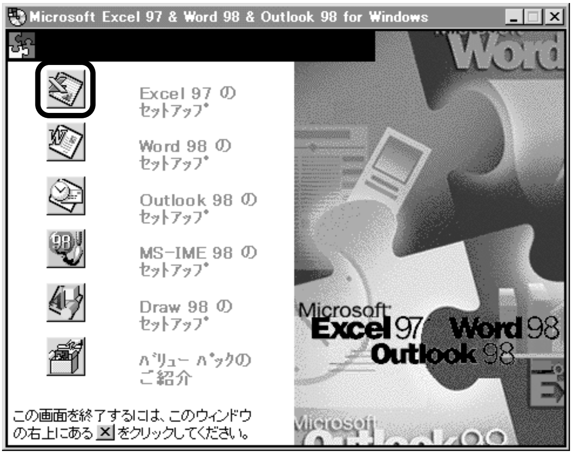
複数のアプリケーションをインストールするときに、名前が同じファイルがあると、あとからインストールされたファイルに更新されます。そのため、ファイルの作成日などが変わってしまう場合があります。ご購入時と同じファイル状態にしたい場合は、必ず本書に記載の手順でインストールを行うようにしてください。

Excel97 のインストール

「Excel97&Word98&Outlook98」を用意してください。

1 **「Excel97&Word98&Outlook98」を CD-ROM ドライブにセットします。**

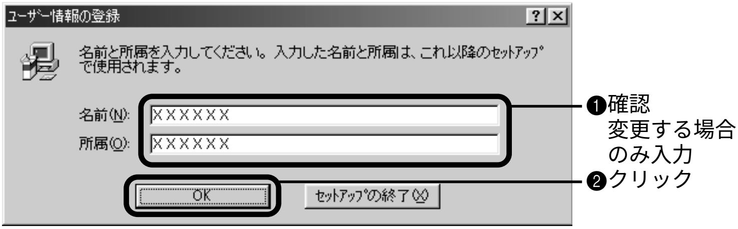
2 **(Excel97 のセットアップ) をクリックします。**



「Microsoft Excel97 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

3 **「継続」をクリックします。**

4 **「名前」、「所属」を確認し、「OK」をクリックします。**



「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。

5 **「OK」をクリックします。**

プロダクト ID が表示されます。

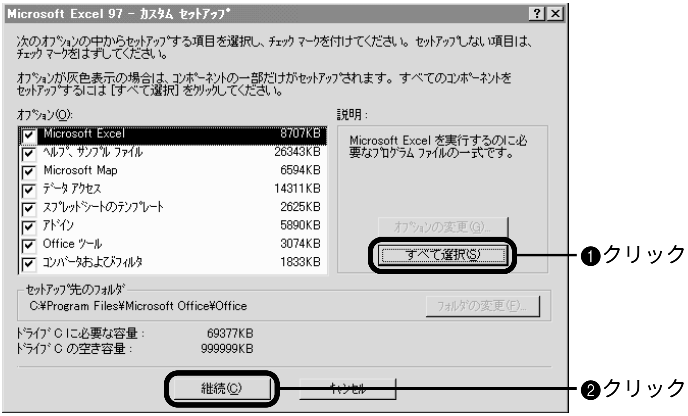
6 「OK」をクリックします。

セットアップ先が表示されます。

7 「OK」をクリックします。

8 「カスタムセットアップ」をクリックします。

9 「すべて選択」をクリックし、「継続」をクリックします。



ファイルのコピーが始まり、しばらくすると「Microsoft Excel97 セットアップが完了しました。」というメッセージが表示されます。

アドバイス

「Microsoft Excel97 - Windows の再起動」ウィンドウが表示された場合

「Windows の再起動」をクリックしてください。パソコンが再起動されます。

このあと、「Word98 のインストール」（••▶ P.29）にお進みください。

10 「OK」をクリックします。

次に、「Word98」のインストールを行います。

Word98 のインストール

確認

「Microsoft Excel97&Word98&Outlook98 for Windows」ウィンドウが表示されていますか？

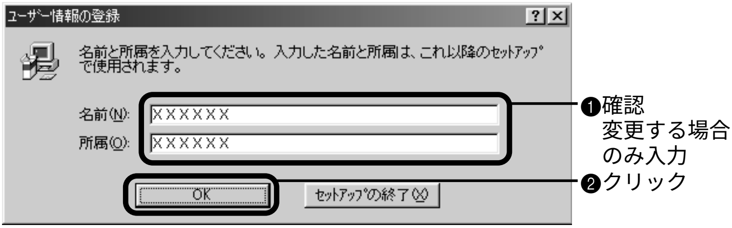
表示されていない場合は、CD-ROM をセットし直してください。しばらくすると表示されます。

1 （Word98 のセットアップ）をクリックします。

「Microsoft Word98 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

2 「継続」をクリックします。

3 「名前」、「所属」を確認し、「OK」をクリックします。



「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。

4 「OK」をクリックします。

プロダクト ID が表示されます。

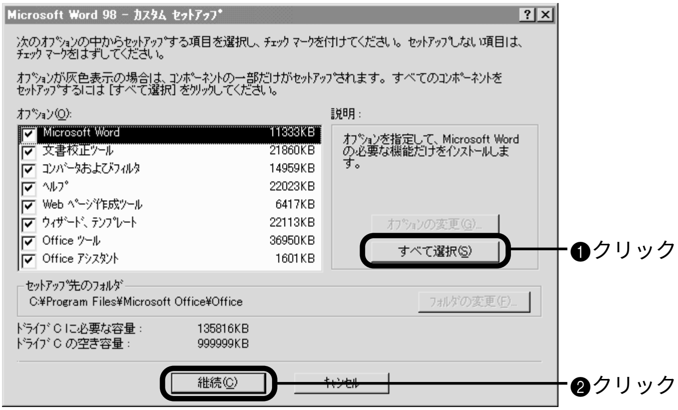
5　「OK」をクリックします。

セットアップ先が表示されます。

6　「OK」をクリックします。

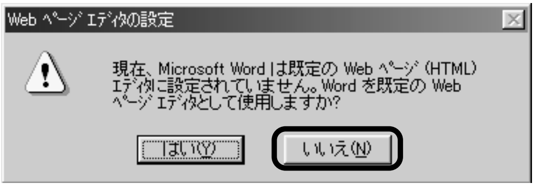
7　「カスタムセットアップ」をクリックします。

8　「すべて選択」をクリックし、「継続」をクリックします。



ファイルのコピーが始まり、しばらくすると「Webページエディタの設定」ウィンドウが表示されます。

9 「いいえ」をクリックします。



「Microsoft Word98セットアップが完了しました。」というメッセージが表示されます。

アドバイス

「Microsoft Word98 - Windowsの再起動」ウィンドウが表示された場合

「Windowsの再起動」をクリックしてください。パソコンが再起動されます。

このあと、「Draw98のインストール」（••▶P.31）にお進みください。

10 「OK」をクリックします。

次に、「Draw98」のインストールを行います。

Draw98のインストール

確認

「Microsoft Excel97&Word98&Outlook98 for Windows」ウィンドウが表示されていますか？

表示されていない場合は、CD-ROMをセットし直してください。しばらくすると表示されます。

1 **（Draw98のセットアップ）をクリックします。**

「Microsoft Draw98セットアップ」ウィンドウが表示されます。

2 「継続」をクリックします。

3　「継続」をクリックします。

ファイルのコピーが始まり、しばらくすると「Microsoft Draw98 セットアップが完了しました。」というメッセージが表示されます。

4　「OK」をクリックします。

次に、「Outlook98」のインストールを行います。

Outlook98 のインストール

確認

「Microsoft Excel97&Word98&Outlook98 for Windows」ウィンドウが表示されていますか？

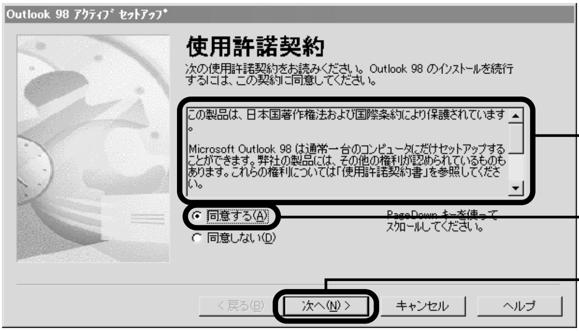
表示されていない場合は、CD-ROMをセットし直してください。しばらくすると表示されます。

1　 （Outlook98 のセットアップ）をクリックします。

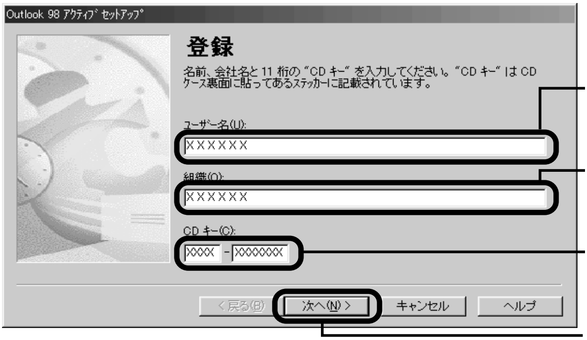
「Outlook98 アクティブセットアップ」ウィンドウが表示されます。

2　「次へ」をクリックします。

3 **「使用許諾契約」の内容をよくお読みください。内容に同意していただいた場合は、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。**

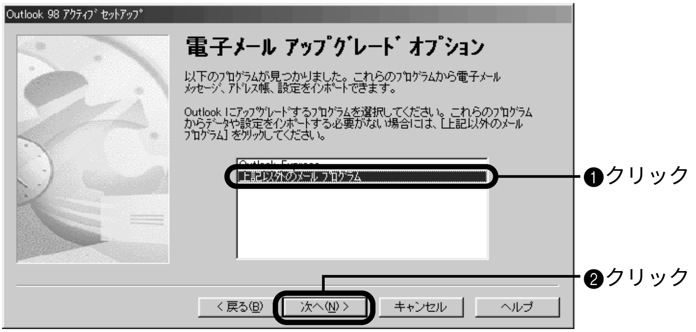


4 **「ユーザー名」、「組織」、「CDキー」を入力し、「次へ」をクリックします。**



5 ▼をクリックし、「完全インストール」をクリックし、「次へ」をクリックします。

6 「上記以外のメールプログラム」をクリックし、「次へ」をクリックします。



7 「インターネットのみ」の左が◉になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。

インストール先を指定するウィンドウが表示されます。

8 「次へ」をクリックします。

「セットアップの準備中」という表示のあと、ファイルのコピーが始まり、しばらくすると「コンポーネントのインストールは完了しました。」というメッセージが表示されます。

9 「OK」をクリックします。

パソコンが再起動されます。

次に、「Outlook98」にインターネットのセキュリティに関するファイルを追加します。

確認

「Excel97&Word98&Outlook98」はセットされていますか？

CD-ROMドライブから取り出してしまった場合は、セットし直してください。しばらくすると「Microsoft Excel97&Word98&Outlook98 for Windows」ウィンドウが表示されますので X (閉じるボタン)をクリックし、ウィンドウを閉じてください。

10 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。

11 「名前」に次のファイル名を入力します。

e:\valupack\patch\outptch2.exe

12 「OK」をクリックします。

重 要

「ファイルが見つかりません」と表示された場合

「OK」をクリックし、「名前」に次のファイル名を入力して、「OK」をクリックしてください。

e:\patch\outptch2.exe

また、入力したファイル名に間違いがないかよく確認してください。

「Microsoft Outlook98 セキュリティパッチ」ウィンドウが表示されます。

13 「はい」をクリックします。

ファイルのコピーが始まり、しばらくすると「パッチのインストールは完了しました。」というメッセージが表示されます。

14 「OK」をクリックします。

15 「Excel97&Word98&Outlook98」をCD-ROMドライブから取り出します。

次に、「Bookshelf Basic」のインストールを行います。

Bookshelf Basicのインストール

「Bookshelf Basic」を用意してください。

1 「Bookshelf Basic」をCD-ROMドライブにセットします。

「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic Version 2.0 のインストール」ウィンドウが表示されます。

2 「次へ」をクリックします。

「インストール先フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

3 「次へ」をクリックします。

4 「インストールする準備ができました！」と表示されたら、「次へ」をクリックします。

ファイルのコピーが始まり、しばらくすると「Bookshelf Basic」が起動されます。

5 「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic Version 2.0」ウィンドウの右上にある ✕（閉じるボタン）をクリックします。

6 「Bookshelf Basic」を CD-ROM ドライブから取り出します。

7 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

8 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。

パソコンが再起動されます。

次に、お客様がお使いのモデル情報を設定します。

モデル情報を設定する

「アプリケーション CD」を用意してください。

1 「アプリケーション CD」を CD-ROM ドライブにセットします。

2 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

3 （アプリケーションの追加と削除）をクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 「インストール」をクリックします。

「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」ウィンドウが表示されます。

5 「次へ」をクリックします。

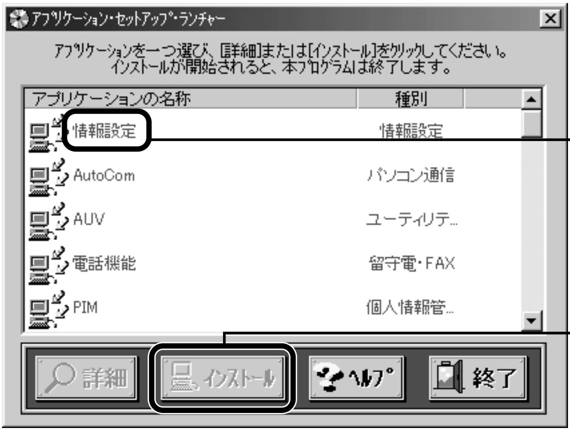
「インストールプログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

6 「インストールプログラムのコマンドライン」に「E:\AplSetup.exe」と表示されていることを確認します。

「E」は CD-ROM ドライブのドライブ名です。

7 「完了」をクリックします。

8 「情報設定」をクリックし、「インストール」をクリックします。



❶クリック

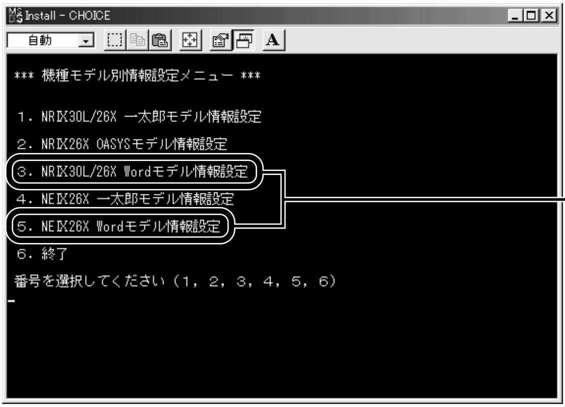
❷クリック
（「インストール」の文字が黒くなってからクリックしてください）

（お使いの機種により異なります）

「Install」ウィンドウが表示されます。

9 パソコン本体をご覧になり、お使いの機種名を確認します。

10 該当する機種、モデル名左の番号の数字キーを押します（モデル名は「Word モデル」です）。



機種名左の番号の数字キーを押す
例：NEⅨ26Xをお使いの場合5を押します。

（お使いの機種により異なります）

ファイルのコピーが始まり、しばらくすると「情報の設定を終了しました。」というメッセージが表示されます。

11 「完了」ウィンドウの右上にある ✕ (閉じるボタン) をクリックします。

12 「コントロールパネル」ウィンドウの右上にある ✕ (閉じるボタン) をクリックします。

13 「アプリケーションCD」をCD-ROMドライブから取り出します。

パソコンがふりだしにもどりました。

このあとは

••▶ P.76 7 「パソコンがふりだしにもどったあとは」

5 「リカバリ CD-ROM」実行後に行うこと　一太郎モデル

次のアプリケーションは、「リカバリ CD-ROM」から復元されません。
ご自身でインストールしてください。

アプリケーション名	使用する CD-ROM
一太郎 9 パック（ワープロ）　••▶ P.41	「一太郎 9 パック」
1-2-3 98（表計算）　••▶ P.46	「1-2-3 98」
ノーツ パーソナル（情報管理）　••▶ P.53	「ノーツ パーソナル」
情報設定（機種、モデル情報の登録）　••▶ P.57 **※必ず行ってください**	「アプリケーション CD」

アドバイス

インストールする順番について

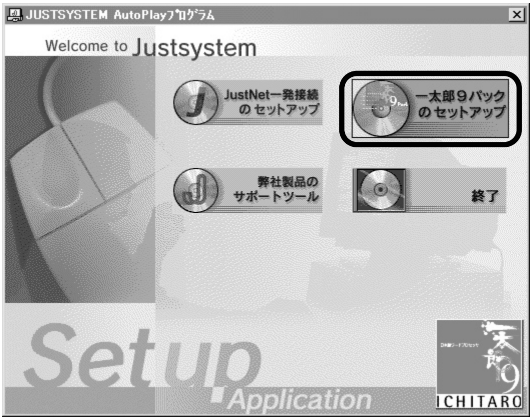
複数のアプリケーションをインストールするときに、名前が同じファイルがあると、あとからインストールされたファイルに更新されます。そのため、ファイルの作成日などが変わってしまう場合があります。ご購入時と同じファイル状態にしたい場合は、必ず本書に記載の手順でインストールを行うようにしてください。

一太郎 9 パックのインストール

「一太郎 9 パック」を用意してください。

1 **「一太郎 9 パック」を CD-ROM ドライブにセットします。**

2 **「一太郎 9 パックのセットアップ」をクリックします。**



3 **「セットアップ開始」をクリックします。**

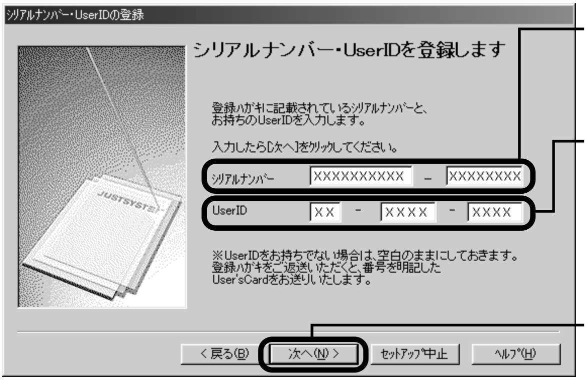
4 **「使用許諾契約の確認」の内容をよくお読みになり、「確認」をクリックします。**

「一太郎 9 パックのセットアップ開始」ウィンドウが表示されます。

5 **「次へ」をクリックします。**

6 「使用者名」、「法人名」を確認し、「次へ」をクリックします。

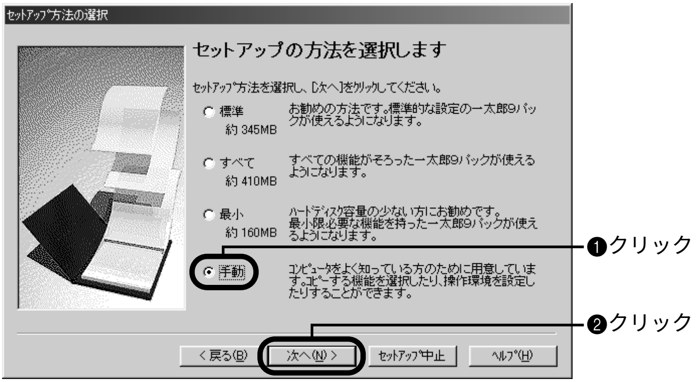
7 「シリアルナンバー」と「UserID」を入力し、「次へ」をクリックします。



8 表示されている内容を確認し、「登録する」をクリックします。

このあとは、「一太郎９パック」の設定を行います。以降の手順では、ご購入時と同じ状態になるように設定しています。

9 **「手動」をクリックし、「次へ」をクリックします。**

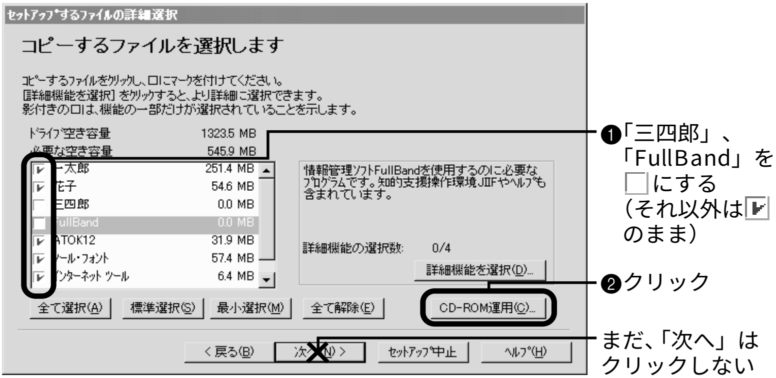


「手動でのセットアップ」ウィンドウに、インストールの説明が表示されます。

10 **「次へ」をクリックします。**

11 **「C:\JUST」の左が◉になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。**

12 **「三四郎」、「FullBand」の左の☑をクリックして□にし、「CD-ROM運用」をクリックします。**



「CD-ROM 運用するファイルの選択」ウィンドウが表示されます。

13 すべての□をクリックして☑にし、「OK」をクリックします。

「セットアップするファイルの詳細選択」ウィンドウに戻ります。

14 「次へ」をクリックします。

15 「プログラムを登録するグループ」が「JUSTSYSTEM アプリケーション」、「JUSTSYSTEMインターネットツール」になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。

16 「Windows準拠型」の左が◉になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。

17 「ローマ字漢字入力(R漢)」の左が◉になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。

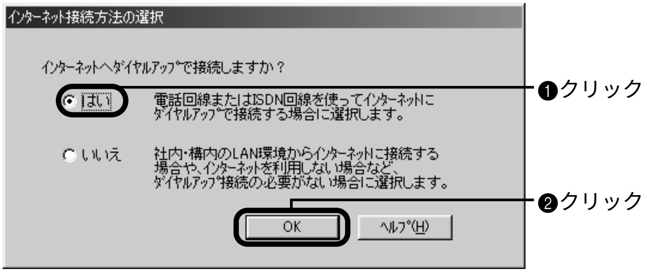
18 「一太郎９の常駐」の左が□になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。

19 「標準のフォルダ名にする」の左が◉になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。

20 「ファイルのコピーを開始します」というメッセージが表示されたら、「コピー開始」をクリックします。

ファイルのコピーが始まり、しばらくすると「インターネット接続方法の選択」ウィンドウが表示されます。

21 「はい」をクリックし、「OK」をクリックします。



「JustNet に入会するには」ウィンドウが表示されます。

22 「確認」をクリックします。

23 「再起動」をクリックします。

24 「OK」をクリックします。

パソコンが再起動されます。

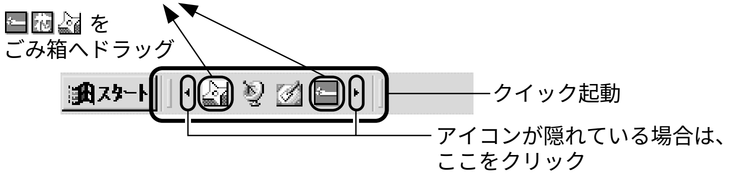
25 「一太郎 9 パック」を CD-ROM ドライブから取り出します。

アドバイス

ご購入時と同じ状態にするには

一太郎 9 パックをインストールすると、ご購入時とデスクトップの設定が変わります。同じ状態にしたい場合は次の操作を行ってください。

- デスクトップのアイコンを削除する
  (花子9)、(Shuriken)のショートカットアイコンを(ごみ箱)にドラッグして削除してください。
- タスクバーの「クイック起動」のショートカットアイコンを削除する
  (一太郎 9)、(花子 9)、(Shuriken) を「クイック起動」から削除してください。



次に、「1-2-3 98」のインストールを行います。

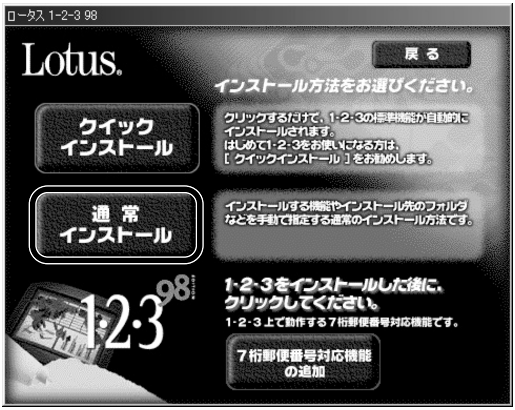
1-2-3 98 のインストール

「1-2-3 98」を用意してください。

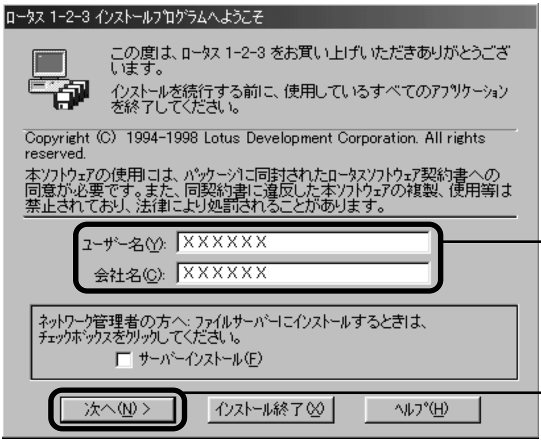
1 **「1-2-3 98」を CD-ROM ドライブにセットします。**

2 **「インストール」をクリックします。**

3 **「通常インストール」をクリックします。**



4 「ユーザー名」、「会社名」を確認し、「次へ」をクリックします。



❶確認
変更する場合
のみ入力
（省略不可）

❷クリック

重 要

「ユーザー名」、「会社名」は省略できません

空欄になっている場合は、必ず入力してください。個人でお使いの場合、「会社名」にはお客様のお名前など、ご自由に入力してください。

「入力の確認」ウィンドウが表示されます。

5 「はい」をクリックします。

インストール先が表示されます。

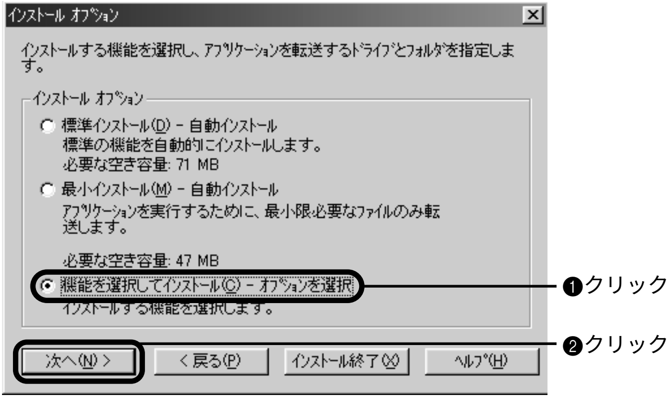
このあとは、「1-2-3 98」の設定を行います。以降の手順では、ご購入時と同じ状態になるように設定しています。

6 「次へ」をクリックします。

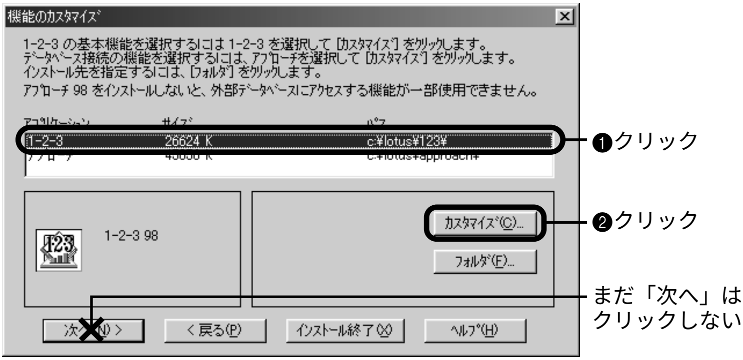
「ロータスアプリケーションフォルダの指定」ウィンドウが表示されます。

7 「次へ」をクリックします。

8 「機能を選択してインストール」をクリックし、「次へ」をクリックします。

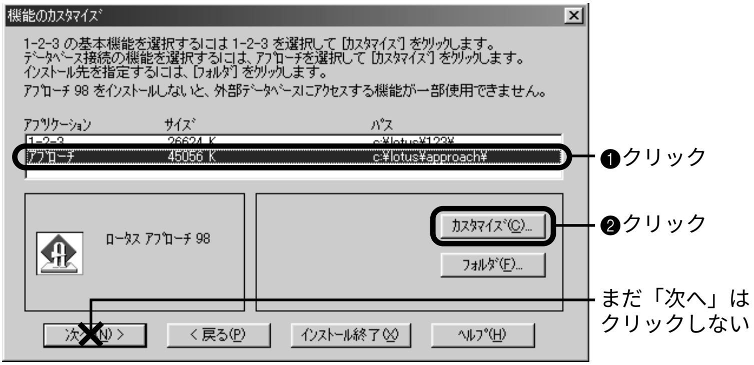


9 「1-2-3」をクリックし、「カスタマイズ」をクリックします。

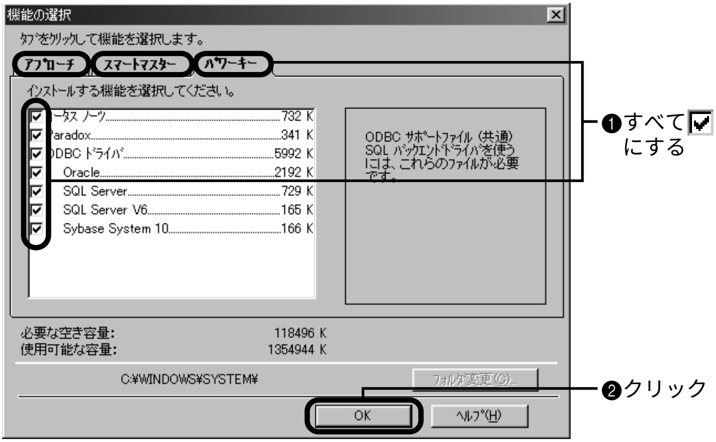


10 「1-2-3」、「ヘルプとサンプル」、「共有データアクセス」、「スマートマスター」、「マップ」タブに表示されている機能の一覧の、すべての□をクリックして☑にし、「OK」をクリックします。

11 「アプローチ」をクリックし、「カスタマイズ」をクリックします。



12 **「アプローチ」、「スマートマスター」、「パワーキー」タブに表示されている機能の一覧の、すべての□をクリックして☑にし、「OK」をクリックします。**



「機能のカスタマイズ」ウィンドウに戻ります。

13 **「次へ」をクリックします。**

「SQL Serverの名前」ウィンドウが表示されます。

14 **「MYSQLSERVER」と大文字で入力し、「次へ」をクリックします。**

「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

15 **「次へ」をクリックします。**

ファイルをハードディスクにコピーします。

16 **「はい」をクリックします。**

ファイルのコピーが始まり、しばらくすると「今すぐコンピュータを再起動しますか？」というメッセージが表示されます。

17 **「いいえ」をクリックします。**

「ロータス1-2-3 98」ウィンドウに戻ります。

次に、「1-2-3 98」に「7桁郵便番号対応機能」を追加します。

７桁郵便番号対応機能のインストール

1 **「7 桁郵便番号対応機能の追加」をクリックします。**

「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

2 **「次へ」をクリックします。**

ファイルのコピーが始まり、しばらくすると「セットアップは正常に終了しました。」というメッセージが表示されます。

3 **「OK」をクリックします。**

「ロータス 1-2-3 98」ウィンドウに戻ります。

4 **「戻る」をクリックします。**

5 **「終了」をクリックします。**

パソコンを再起動します。

6 **「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。**

7 **「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。**

パソコンが再起動されます。

「1-2-3 98」を起動し、「7 桁郵便番号対応機能」を登録します。

8 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「ロータスアプリケーション」の順にマウスポインタを合わせ、「1-2-3 98」をクリックします。

「1-2-3 へようこそ」ウィンドウが表示されます。

9 「OK」をクリックします。

10 「ファイル」メニューの「アドイン」から「アドインの管理」をクリックします。

「アドイン管理」ウィンドウが表示されます。

11 「登録」をクリックします。

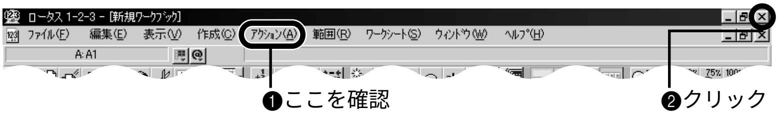
「アドインの登録」ウィンドウが表示されます。

12 「postal.12a」をクリックし、「開く」をクリックします。

「アドイン管理」ウィンドウに戻ります。

13 「C:\lotus\123\addins\postal.12a」をクリックして✓にし、「終了」をクリックします。

14 メニューの中に「アクション」メニューが追加されていることを確認し、✕（閉じるボタン）をクリックします。



設定を有効にするため、パソコンを再起動します。

15 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。

16 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。

パソコンが再起動されます。

17 「1-2-3 98」を CD-ROM ドライブから取り出します。

アドバイス

ロータス アプローチ 98 で通信をお使いの方へ

お使いになるときに、モデムポートの設定を「COM2」にする必要があります（データを作成していない状態ではモデムポートの設定はできません）。

操作手順など詳しくは、ヘルプをご覧ください。

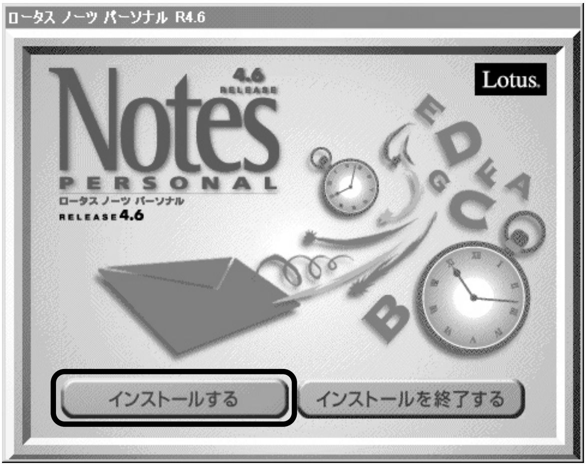
次に、「ノーツ パーソナル」のインストールを行います。

ノーツ　パーソナルのインストール

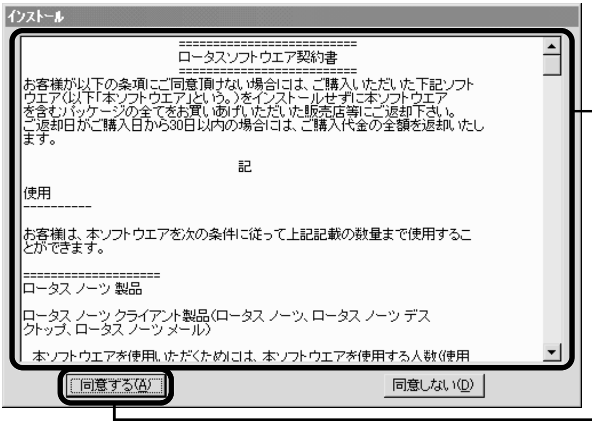
「ノーツ パーソナル」を用意してください。

1 「ノーツ パーソナル」を CD-ROM ドライブにセットします。

2 「インストールする」をクリックします。



3 「ロータスソフトウェア契約書」の内容をよくお読みください。内容に同意していただいた場合は、「同意する」をクリックします。



❶内容をお読みください。

❷クリック

4 「ユーザー名」、「会社名」を確認し、「次へ」をクリックします。

❶確認
変更する場合のみ入力
(省略不可)

❷クリック

重 要

「ユーザー名」、「会社名」は省略できません

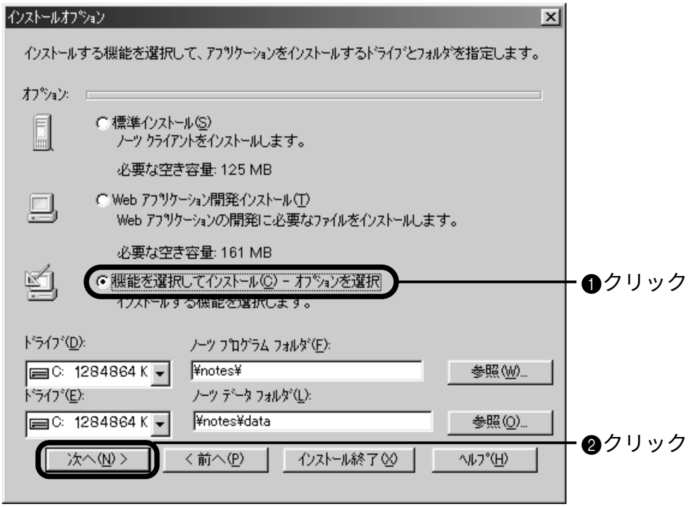
空欄になっている場合は、必ず入力してください。個人でお使いの場合、「会社名」にはお客様のお名前などご自由に入力してください。

「名前の確認」ウィンドウが表示されます。

5 「はい」をクリックします。

このあとは、「ノーツ パーソナル」の設定を行います。以降の手順では、ご購入時と同じ状態になるように設定しています。

6 「機能を選択してインストール」をクリックし、「次へ」をクリックします。



「機能の選択」ウィンドウが表示されます。

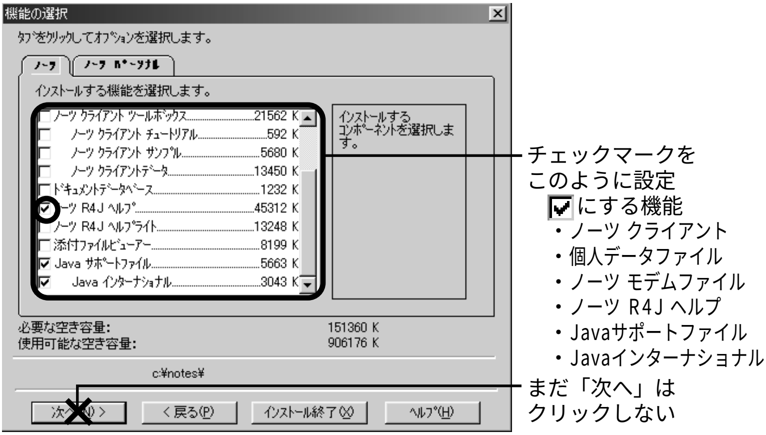
1 パソコンをふりだしにもどす

一太郎モデル

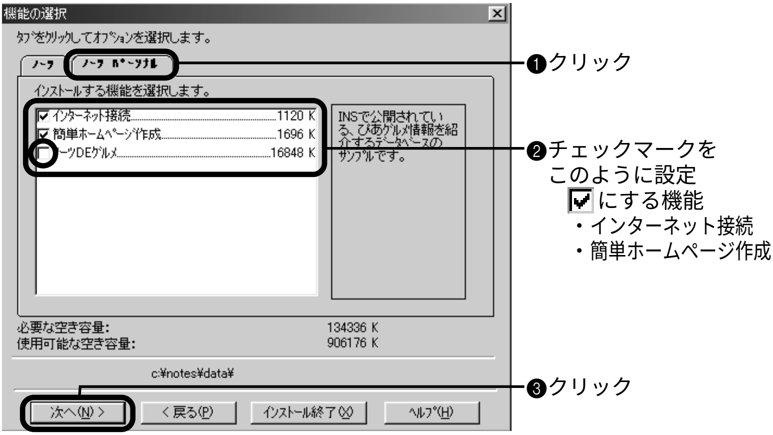
OASYSモデル

7 「ノーツ」タブに表示されている「ドキュメントデータベース」と「ノーツ R4J ヘルプライト」の左の☑をクリックし、☐にします。

8 「ノーツ R4J ヘルプ」の左の☐をクリックし、☑にします。



9 「ノーツ パーソナル」タブをクリックし、「ノーツ DE グルメ」の左の☑をクリックして☐にし、「次へ」をクリックします。



「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

10 「次へ」をクリックします。

「ファイルの転送」ウィンドウが表示されます。

ファイルをハードディスクにコピーします。

11 「はい」をクリックします。
ファイルのコピーが始まり、しばらくすると「インストール完了」ウィンドウが表示されます。

12 「終了」をクリックします。
「ノーツを起動しますか？」というメッセージが表示されます。

13 「いいえ」をクリックします。

14 「ノーツ パーソナル」を CD-ROM ドライブから取り出します。

設定を有効にするため、パソコンを再起動します。

15 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

16 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
パソコンが再起動されます。

次に、お客様がお使いのモデル情報を設定します。

モデル情報を設定する

「アプリケーション CD」を用意してください。

1 「アプリケーション CD」を CD-ROM ドライブにセットします。

2 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

3 (アプリケーションの追加と削除）をクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 「インストール」をクリックします。

「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」ウィンドウが表示されます。

5 「次へ」をクリックします。

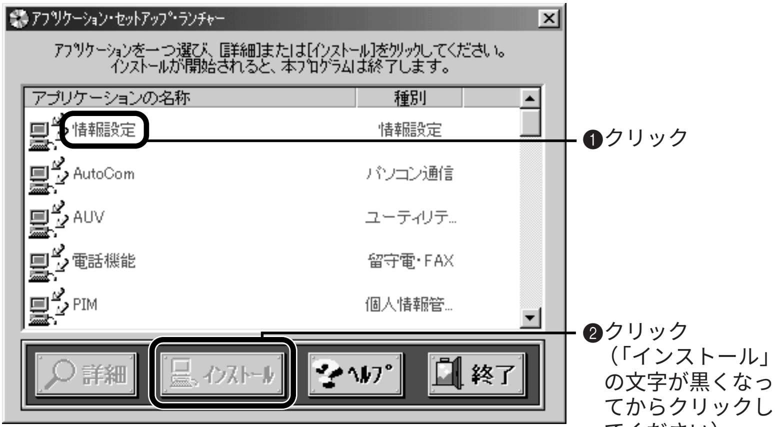
「インストールプログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

6 「インストールプログラムのコマンドライン」に「E:\AplSetup.exe」と表示されていることを確認します。

「E」は CD-ROM ドライブのドライブ名です。

7 「完了」をクリックします。

8 「情報設定」をクリックし、「インストール」をクリックします。

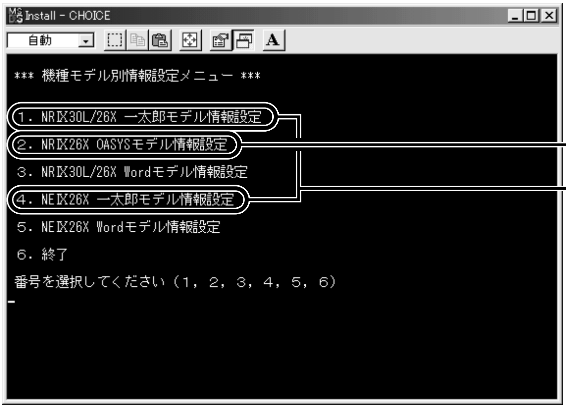


（お使いの機種により異なります）

「Install」ウィンドウが表示されます。

9 パソコン本体をご覧になり、お使いの機種名を確認します。

10　該当する機種、モデル名左の番号の数字キーを押します（モデル名は「一太郎モデル」、または「OASYS モデル」です）。



（お使いの機種により異なります）

ファイルのコピーが始まり、しばらくすると「情報の設定を終了しました。」というメッセージが表示されます。

11　「完了」ウィンドウの右上にある ✕（閉じるボタン）をクリックします。

12　「コントロールパネル」ウィンドウの右上にある ✕（閉じるボタン）をクリックします。

13　「アプリケーションCD」をCD-ROMドライブから取り出します。

パソコンがふりだしにもどりました。

このあとは

▶ P.76 7「パソコンがふりだしにもどったあとは」

6 「リカバリ CD-ROM」実行後に行うこと OASYSモデル

次のアプリケーションは、「リカバリ CD-ROM」から復元されません。必要に応じてインストールしてください。

アプリケーション名	使用する CD-ROM
OASYS（ワープロ） ••▶P.62	「OASYS プログラムディスク」
	「OASYS V6.0 アップデートパック」
1-2-3 98（表計算） ••▶P.46	「1-2-3 98」
ノーツ パーソナル（情報管理） ••▶P.53	「ノーツ パーソナル」
情報設定（機種、モデル情報の登録） ••▶P.57 **※必ず行ってください**	「アプリケーション CD」

アドバイス

インストールする順番について

複数のアプリケーションをインストールするときに、名前が同じファイルがあると、あとからインストールされたファイルに更新されます。そのため、ファイルの作成日などが変わってしまう場合があります。ご購入時と同じファイル状態にしたい場合は、必ず本書に記載の手順でインストールを行うようにしてください。

OASYS のインストール

「OASYS プログラムディスク」を用意してください。

1 「OASYSプログラムディスク」をCD-ROMドライブにセットします。

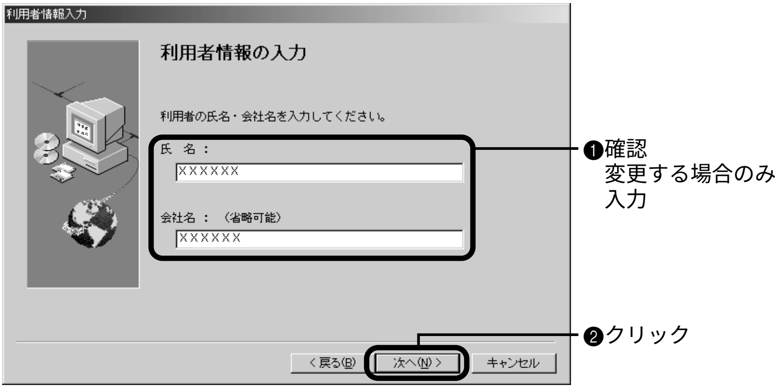
2 「インストール」をクリックします。

「OASYS V6 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

3 「次へ」をクリックします。

4 「使用許諾の確認」の内容をよくお読みになり、「次へ」をクリックします。

5 「氏名」、「会社名」を確認し、「次へ」をクリックします。



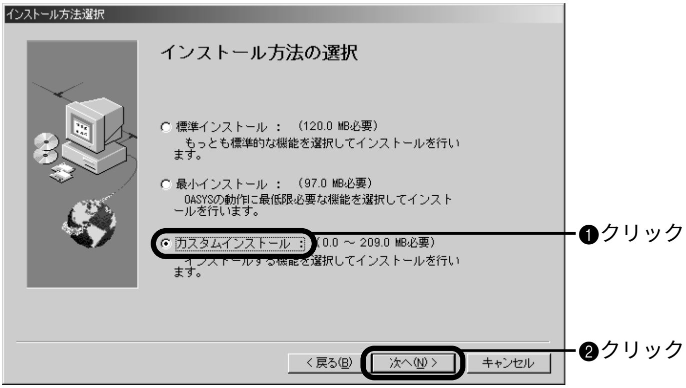
「利用者情報確認」ウィンドウが表示されます。

6 「次へ」をクリックします。

このあとは、「OASYS」の設定を行います。以降の手順では、ご購入時と同じ状態になるように設定しています。

7 「Windows 標準操作」の左が になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。

8 「カスタムインストール」をクリックし、「次へ」をクリックします。



「インストール機能選択」ウィンドウが表示されます。

9 「全選択」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「フォルダ指定」ウィンドウが表示されます。

10 「次へ」をクリックします。

「指定されたフォルダは存在しません 新規に作成しますか」というメッセージが表示されます。

11 「はい」をクリックします。

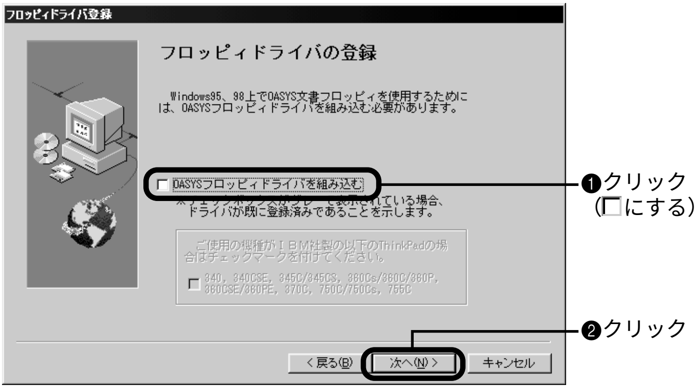
「OAK インストール指定」ウィンドウが表示されます。

12 「インストールする」の左が になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。

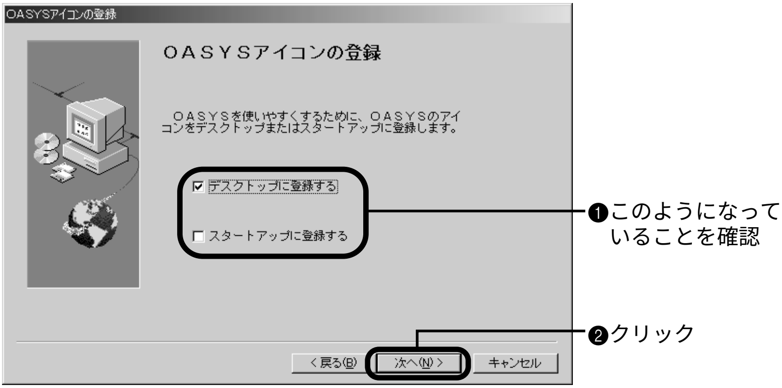
13 **「106/109日本語キーボード」が表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。**

14 **「文字の入力方式」が「全Rかな」、「書類の作成」が「作成する」に設定されていることを確認し、「次へ」をクリックします。**

15 **「OASYSフロッピィドライバを組み込む」の左の☑をクリックして□にし、「次へ」をクリックします。**



16 **「デスクトップに登録する」の左のみ☑になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。**



17 アイコンの登録先が「OASYS V6」となっていることを確認し、「次へ」をクリックします。

「インストール機能確認」ウィンドウが表示されます。

「OASYS」のファイルをハードディスクにコピーします。

18 「完了」をクリックします。

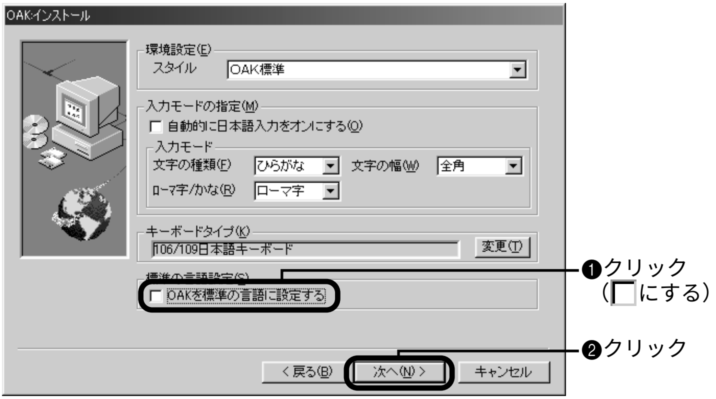
ファイルのコピーが始まります。
しばらくすると、「OAK」のインストールが始まります。

19 「次へ」をクリックします。

このあとは、「OAK」の設定を行います。以降の手順では、ご購入時と同じ状態になるように設定しています。

20 「次へ」をクリックします。

21 下の画面のように設定し、「次へ」をクリックします。



アイコンの登録先を指定するウィンドウが表示されます。

22 「次へ」をクリックします。

インストール内容を確認するウィンドウが表示されます。

「OAK」のファイルをハードディスクにコピーします。

23 「完了」をクリックします。

ファイルのコピーが始まり、しばらくすると「インストールが完了しました。」というメッセージが表示されます。

24 「Windows に戻る」をクリックします。

25 「OAK V6」ウィンドウの右上にある ☒（閉じるボタン）をクリックします。

26 「OASYSプログラムディスク」をCD-ROMドライブから取り出します。

OASYS のアップデート

OASYS プログラムのデータを追加インストールします。
「OASYS V6.0 アップデートパック」を用意してください。

1 「OASYS V6.0 アップデートパック」をCD-ROMドライブにセットします。

2 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。

3 「名前」に次のように入力します。

e:\update.exe

アドバイス

入力がうまくいかないときは

「参照」をクリックし、以下の手順でファイルを指定してください。

1 **「ファイルの場所」の右の ▼ をクリックし、「Oasys601 (E:)」をクリックします。**
「ファイルの場所」に「Oasys601 (E:)」と表示されます。

2 **「Update」をクリックし、「開く」をクリックします。**
「ファイル名を指定して実行」ウィンドウに戻り、「名前」に「E:\Update.exe」と表示されます。

4 「OK」をクリックします。

「OASYS：アップデートインストール」ウィンドウが表示されます。

5 すべての項目が☑になっていることを確認し、「開始」をクリックします。

「アップデート処理を開始します」というメッセージが表示されます。

6 「はい」をクリックします。

ファイルのコピーが始まります。

アップデートが正しく終了すると、「アップデートした製品を有効とするため Windows を再起動してください」というメッセージが表示されます。

7 「OK」をクリックします。

8 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。

9 「名前」に次のファイル名を入力します。

e:\oak\update.exe

アドバイス

入力がうまくいかないときは

「参照」をクリックし、以下の手順でファイルを指定してください。

1 **「ファイルの場所」の右の ▼ をクリックし、「Oasys601（E:)」をクリックします。**
「ファイルの場所」に「Oasys601（E:)」と表示されます。

2 **「Oak」をクリックし、「開く」をクリックします。**
「ファイルの場所」に「Oak」と表示されます。

3 **「Update」をクリックし、「開く」をクリックします。**
「ファイル名を指定して実行」ウィンドウに戻り、「名前」に「E:\OAK\Update.exe」と表示されます。

10 「OK」をクリックします。

「OAK：アップデートインストール」ウィンドウが表示されます。

11 「開始」をクリックします。

「アップデート処理を開始します」というメッセージが表示されます。

12 「はい」をクリックします。

「アップデートインストールが終了しました」というメッセージが表示されます。

13 「OK」をクリックします。

14 「OASYS V6.0 アップデートパック」をCD-ROMドライブから取り出します。

OAKを標準の言語に設定する

1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2 （キーボード）をクリックします。

「キーボードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 「言語」タブをクリックします。

4 「OAK V6.0」をクリックし、「既定値として設定」をクリックします。

5 「OK」をクリックします。

6 「コントロールパネル」ウィンドウの右上にある X（閉じるボタン）をクリックします。

設定を有効にするため、パソコンを再起動します。

7 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

8 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。

パソコンが再起動されます。

OASYS ドライバのインストール

ワープロ専用機のフロッピーディスクを使用するためのドライバを2種類インストールします。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2 （ハードウェアの追加）をクリックします。

「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。

3 「次へ」をクリックします。

プラグアンドプレイ機器を検索するウィンドウが表示されます。

4 「次へ」をクリックします。

アドバイス

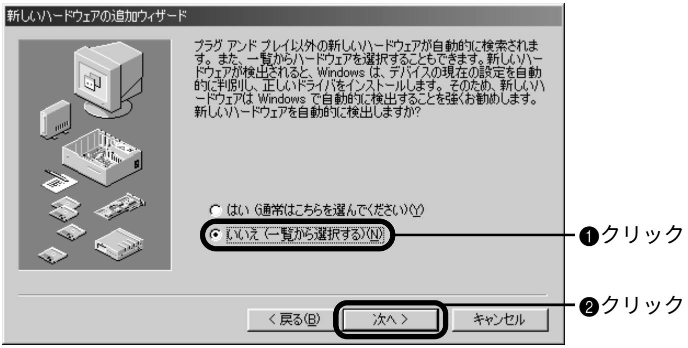
「次のプラグアンドプレイデバイスがインストールされました」と表示された場合

「ほかのデバイスもインストールする」をクリックし、「次へ」をクリックしてください。

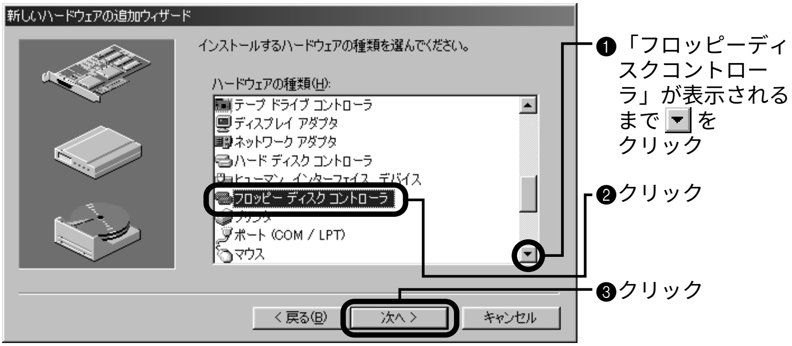
「インストールするデバイスは一覧にありますか？」というメッセージが表示されます。

5 「デバイスは一覧にない」をクリックし、「次へ」をクリックします。

6 「いいえ」をクリックし、「次へ」をクリックします。



7 ▲ ▼ をクリックし、「ハードウェアの種類」の一覧をスクロールし、「フロッピーディスクコントローラ」をクリックして、「次へ」をクリックします。

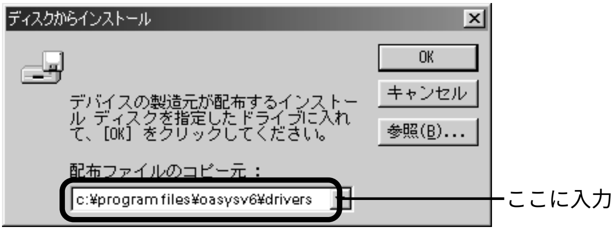


ハードウェアの製造元とモデルを設定するウィンドウが表示されます。

8 「ディスク使用」をクリックします。

9 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力します。

c:\program files\oasysv6\drivers



アドバイス

入力がうまくいかないときは

「参照」をクリックし、以下の手順でファイルを指定してください。

1. **「フォルダ」の一覧の「c:\」をクリックし、「OK」をクリック します。**
2. **「Program Files」をクリックし、「OK」をクリックします。**
3. **「oasysv6」をクリックし、「OK」をクリックします。**
4. **「drivers」をクリックし、「OK」をクリックします。**
   「ファイル名」の一覧に何種類かファイル名が表示されます。
5. **「OK」をクリックします。**
   「ディスクからインストール」ウィンドウに戻り、「配布ファイルのコピー元」に「C:\Program Files\OASYSV6\DRIVERS」と表示されます。

10 「OK」をクリックします。

11 製造元の「FUJITSU」をクリックし、モデルに「Fujitsu Oasys Floppy Driver」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックします。

「ハードウェアのインストールを正常に続行します。」というメッセージが表示されます。

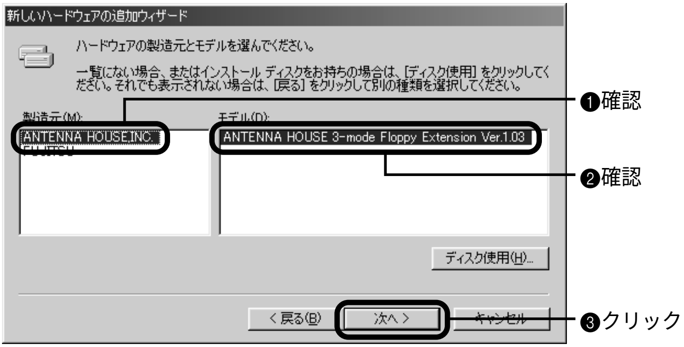
12 「完了」をクリックします。

「今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されます。

13 「いいえ」をクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウに戻ります。

14 手順 2〜手順 13 を繰り返します。
そのとき手順 11 では、製造元に「ANTENNA HOUSE,INC.」、モデルに「ANTENNA HOUSE 3-mode Floppy Extension Ver.1.03」がそれぞれ選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。



15 「コントロールパネル」ウィンドウの右上にある ×（閉じるボタン）をクリックします。

Data Access Objectsのインストール

ニフティサーブに接続するためのドライバをインストールします。
「OASYS プログラムディスク」を用意してください。

1 「OASYSプログラムディスク」をCD-ROMドライブにセットします。

しばらくすると、「OASYS」ウィンドウが表示されます。

2 「終了」をクリックします。

3 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。

4 「名前」に次のファイル名を入力します。

e:\oasysnim\disk1\setup.bat

アドバイス

入力がうまくいかないときは

「参照」をクリックし、以下の手順でファイルを指定してください。

1 **「ファイルの場所」の右の▼をクリックし、「Oasys601（E:)」をクリックします。**
「ファイルの場所」に「Oasys601（E:)」と表示されます。

2 **「Oasysnim」をクリックし、「開く」をクリックします。**
「ファイルの場所」に「Oasysnim」と表示されます。

3 **「Disk1」をクリックし、「開く」をクリックします。**
「ファイルの場所」に「Disk1」と表示されます。

4 **「Setup」をクリックし、「開く」をクリックします。**
このとき「Setup」をクリックしないように気をつけてください。
「ファイル名を指定して実行」ウィンドウに戻り、「名前」に「E:\OASYSNIM\DISK1\Setup.bat」と表示されます。

5 「OK」をクリックします。

「Welcome」ウィンドウが表示されます。

6 「Next」をクリックします。

ファイルがコピーされます。

7 ファイルのコピーが終了したら、「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。

8 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。

パソコンが再起動されます。

9 「OASYS プログラムディスク」をCD-ROMドライブから取り出します。

このあとは

次の操作を順に行ってください。

••▶ P.46「1-2-3 98 のインストール」
••▶ P.53「ノーツ パーソナルのインストール」
••▶ P.57「モデル情報を設定する」

7 パソコンがふりだしにもどったあとは

パソコンがふりだしにもどったら、バックアップしたファイルを復元するなど、以前に使っていた環境に近づけましょう。

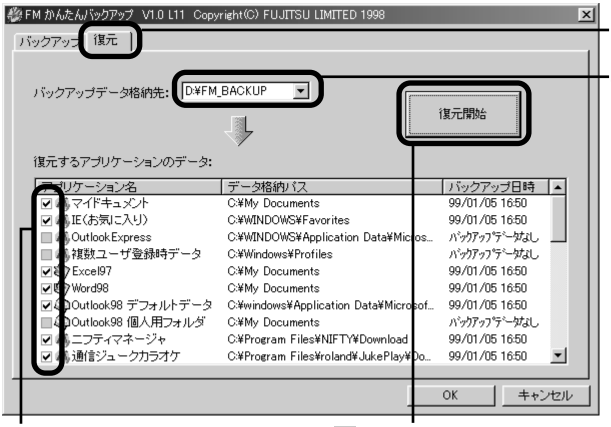
バックアップしたファイルを復元する

「ふりだしにもどす前に」でバックアップしたファイルを元の場所に戻します。

「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたファイルを復元する

「FMかんたんバックアップ」でバックアップしたファイルを元の場所に復元します。

1　**使用中のアプリケーション（AUV など）をすべて終了します。**
2　**「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「FM かんたんバックアップ」の順にマウスポインタを合わせ、「FMかんたんバックアップ」をクリックします。**
3　**❶～❹ の手順に従って、操作してください。**



❶「復元」をクリック
❷「D:\FM_BACKUP」となっていることを確認
❸復元するアプリケーション名が☑になっていることを確認
❹「復元開始」をクリック

4　「復元を続けますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

5　しばらく待ちます。

このとき、タブをクリックするなど操作は行わないでください。

6　「復元処理を終了しました。」と表示されたら、「OK」をクリックします。

7　「OK」をクリックします。

アドバイス

ファイルが復元されなかったときは

- **「バックアップデータ格納先」が間違って指定されている**
  ドライブ名をバックアップのときと同じドライブに指定し直してください。
- **ファイルがバックアップされていない**
  バックアップしたときに、ファイルのバックアップに失敗しています。この場合、ファイルの復元はできません。

コピーしてバックアップしたファイルを復元する

バックアップしたときと同じように、ファイルを元の場所にコピーします。このとき、違う場所にコピーすると使用できなかったり、別途設定が必要になったりする場合がありますのでご注意ください。
また、ご購入後にインストールしたアプリケーションのファイルを復元する場合は、先にアプリケーションをインストールしてからファイルをコピーしてください。

アドバイス

バックアップは定期的に行いましょう

パソコンをふりだしにもどすときにバックアップしようと思っても、なかなかすべてのファイルはバックアップできません。大切なファイルを失わないために、日頃からのバックアップは重要です。「FM かんたんバックアップ」は日常のバックアップにも使えます。パソコンの電源を切る前に、ファイルをまとめてバックアップする習慣をつけましょう。
1『かるがるパソコン入門』の「ファイルは控えをとり、整理して保存しよう」もあわせてお読みください。

その他の作業

オプション機器を接続する

••▶ 5『FMV 本体 & オプションガイド』

プリンタなどオプション機器の接続方法を紹介しています。
オプション機器に添付のマニュアルもご覧ください。

FMV 簡単登録について

「FMV簡単登録」に登録したお客様の情報（名前や住所など）は消えています。「FMV 簡単登録」を起動して、情報を入力してください。
ただし、ユーザー登録やオンラインサインアップがすでにお済みの場合、実際の電話回線を使っての登録は必要ありません（二重登録になりますので絶対行わないでください）。

••▶ 『かんたん！ユーザー登録』

アプリケーションをインストールする

ご購入後にインストールしたアプリケーションは、改めてインストールする必要があります（市販のアプリケーションなど）。
Dドライブにインストールしていたアプリケーションも使えなくなる場合がありますので、再インストールしてください。
インストール方法はそれぞれのアプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。

インターネットに接続する

インターネットに接続していた方は、接続の設定を行うだけで再びご利用になれます。オンラインサインアップを行う必要はありません。

InfoWeb と契約している場合

••▶ 3『はじめよう!インターネット』「すでに InfoWeb と契約している場合の設定」

InfoWeb 以外のプロバイダと契約している場合

••▶ 3『はじめよう!インターネット』「すでに InfoWeb 以外のプロバイダと契約している場合の設定」

パソコンの設定を変える

以下の設定は、4『困ったときのQ&A』をご覧ください。

- 画面の背景を変える
- スクリーンセーバーを設定する
- 画面の解像度や発色数を変える
- デスクトップにショートカットアイコンを登録する
- アプリケーションをダブルクリックで実行する
- フラットポイントの設定を左きき用にする
- 起動時に特定のアプリケーションを実行する（スタートアップに登録する）

など

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のコピーを作り大切に保管する（まだコピーを作成していない場合）

フロッピーディスクは、壊れやすいものです。万一の場合、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」が壊れていては、パソコンをふりだしにもどすことはできません。「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」は、必ず「保管用」と「作業用」で2枚以上持ち、どちらも大切に保管するようにしましょう。

••▶P.82「「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のコピーを作る」

ハードディスクをフォーマットする（領域を設定し直した場合のみ）

拡張 MS-DOS 領域に作成したドライブ（D 以降）は、必ずハードディスクをフォーマットしてからお使いください。

付録1

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のコピーを作る

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」がないと、パソコンをふりだしにもどすことができません。ここでは、万一のときに備えて、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のコピーを作る方法を説明します。

1 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のコピーを作る

ここでは、「リカバリCD-ROM起動ディスク」のコピーを作る理由と、その方法を説明しています。

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のコピーを作る理由

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」は大事なもの

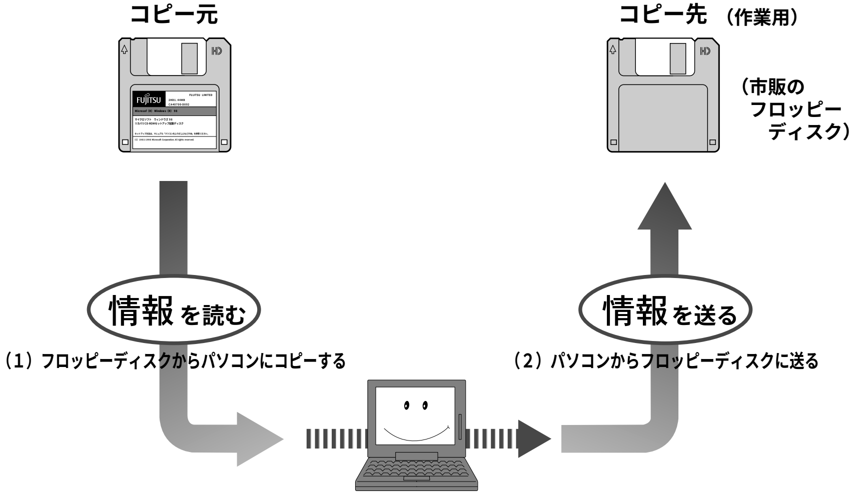
何らかの原因でパソコンが動かなくなってしまったとき、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。このときに必要になるのが、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」です。これがないと、万一のときにパソコンをご購入時の状態に戻すことができなくなるので、大事に保管する必要があります。

フロッピーディスクは壊れやすい！？

フロッピーディスクは磁気や水分、熱などに弱いものです。お茶やコーヒーをこぼしたときなどに壊れてしまうことがあります。「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のように大事なフロッピーディスクは、あらかじめコピーを作っておいてください。
実際の作業には、コピーしたフロッピーディスクをお使いください。

作業の流れ

これから行う作業の流れを説明します。
フロッピーディスク間のコピーを行うときは、(1) まずコピー元のフロッピーディスクの内容をいったんパソコンにコピーし、(2) 次に、パソコンからコピー先のフロッピーディスクにその内容を送ります。



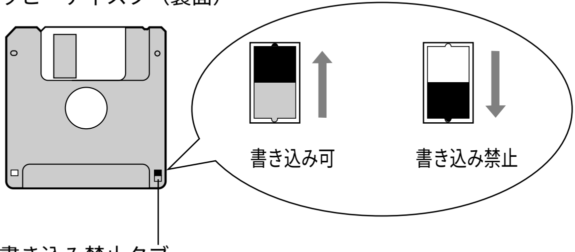
パソコンを通して情報をコピーします

用意するもの

次のものを用意してください。

- **「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」**
- **DOS/V フォーマット済フロッピーディスク（3.5 インチ 2HD）**
  市販のフロッピーディスクを1枚用意してください。「3.5インチ2HD」以外のタイプはご使用になれません。「DOS/V フォーマット済」以外のフロッピーディスクは事前にフォーマットが必要です。
  ••▶ 1『かるがるパソコン入門』
  「書き込み可」になっているか書き込み禁止タブの状態を確認してください。

フロッピーディスク（裏面）



書き込み禁止タブ
これを上に動かして、穴をふさぐと、書き込み可能になります。

- **フロッピーディスクのラベル**
  「リカバリCD-ROM」セットに同梱されています。ラベルの空いたところに「作業用」とご記入ください。

次のような接続状態にする

AC アダプタを使用し、必ずコンセントから電源を確保してください。
NR NRⅨ30L/NRⅨ26X NS NSⅨ26X MF MFⅨ26 をお使いの方は、フロッピーディスクを使用できる状態にする必要があります。
取り付けかた ••▶ 5『FMV 本体 & オプションガイド』

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のコピーを作る

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の内容を、フォーマット済みのフロッピーディスクにコピーします。

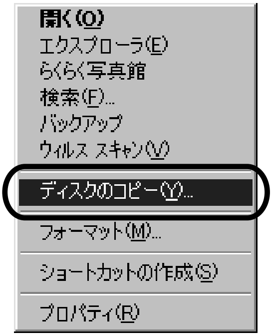
コピー元→パソコン

1　デスクトップにある（マイコンピュータ）をクリックします。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。

2　「リカバリ CD-ROM起動ディスク」をフロッピーディスクドライブに差し込みます。

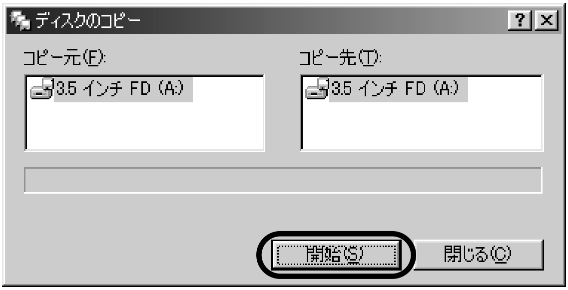
3　（3.5 インチ FD（A:））にマウスポインタを合わせ、フラットポイントの右ボタンを 1 回押します（右クリックします）。

4　「ディスクのコピー」をクリックします。



（お使いの機種により異なります）

5　「開始」をクリックします。



コピーが始まり、進行状況が表示されます。
進行状況が半分まで進むと、「コピー先のディスクを入れて、[OK] をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。

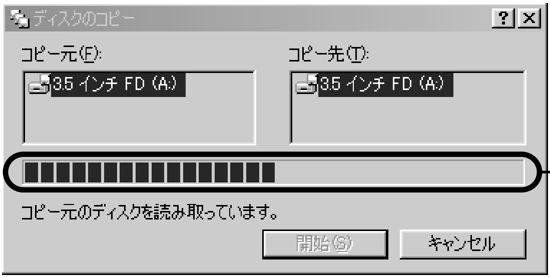
重 要

ここでは「OK」をクリックしないでください

「OK」をクリックするのは、コピー先のフロッピーディスクをセットしたあと（手順*7*）です。ここで「OK」をクリックしてしまった場合は、そのままフロッピーディスクを差し替え、「再試行」をクリックしてください。コピーの続きが始まります。手順*8*へお進みください。

フロッピーディスクを差し替える

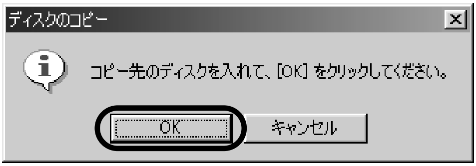
6　状態表示 LCD に が表示されていないことを確認して、「リカバリCD-ROM起動ディスク」をフロッピーディスクドライブから取り出し、フォーマット済のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに差し込みます。



進行状況がこの状態のときにフロッピーディスクを差し替えて手順*7*へ進みます。

パソコン→コピー先

7　「ディスクのコピー」ウィンドウの「OK」をクリックします。



コピーの続きが始まり、進行状況が表示されます。
しばらくすると、「コピーが正常に完了しました。」というメッセージが表示されます。

8　「閉じる」をクリックします。

メッセージを確認してください。

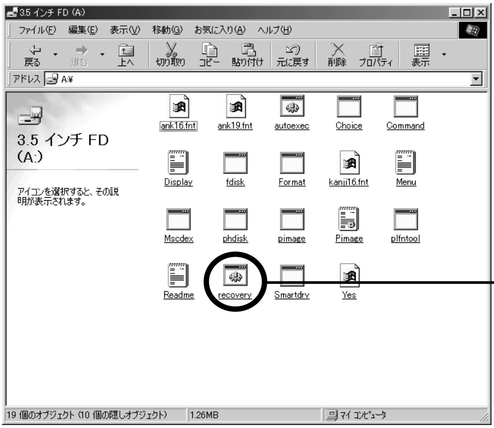
「マイコンピュータ」ウィンドウに戻ります。

コピーの確認をする

9　 (3.5 インチ FD（A:)）をクリックします。

「3.5 インチ FD（A:)」ウィンドウが表示されます。

10 下の画面例のように表示されることを確認します。



「recovery」というファイルが表示されていれば、正しくコピーされています。

（お使いの機種により異なります）

11 「3.5 インチ FD（A:）」ウィンドウの右上にある（閉じるボタン）をクリックします。

12 状態表示LCDにが表示されていないことを確認して、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出します。

13 「作業用」と記入したラベルを、コピーしたフロッピーディスクに貼ります。

14 書き込み禁止タブを下に動かして、フロッピーディスクを「書き込み禁止」にします。

これで、コピーは終了です。「リカバリ CD-ROM 起動ディスク（作業用）」は添付の「リカバリ CD-ROM」と一緒に保管します。ご購入時に添付されていた「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」は、「書き込み禁止」のまま大切に保管してください。

付録2

ハードディスクの領域を設定する

ここでは、ハードディスクの領域を設定する方法について説明しています。

ある程度パソコンについての知識を必要とする記述があります。特に問題のない場合、ご購入時のままの領域でお使いになることをお勧めします。

1 ハードディスクの領域を設定する

ハードディスクは、ご購入時にはCドライブとDドライブに区切られています。区切ったそれぞれの場所のことを領域といいます。Cドライブにあたる部分を「基本MS-DOS領域」といい、Windows98がインストールされています。
ハードディスクの領域が壊れてしまった場合や、ドライブの容量をお使いの状況に合わせ変更して使いたい場合などに領域を設定し直します。

重 要

ご注意！ハードディスクのファイルは消えてしまいます

- ハードディスクの領域を設定すると、ハードディスクのファイルはすべて消えてしまいます（Dドライブのファイルも消えてしまいます）。お客様が作成されたファイルは必ずフロッピーディスクなどにバックアップしてから、設定を行ってください。
- 設定後、「パソコンをふりだしにもどす」（••▶P.1）作業が必要になります。

お客様のハードディスクの容量をご確認ください

ハードディスクの容量は、5『FMV 本体＆オプションガイド』の「仕様一覧」で確認できます。

設定の手順

設定は次の順番で行います。

1. **現在の領域を確認する**
2. **現在の領域を削除する**
3. **基本MS-DOS領域（Cドライブ）を作成する**
4. **拡張MS-DOS領域を作成し、拡張MS-DOS領域内に論理MS-DOSドライブ（D以降のドライブ）を作成する**

領域の設定は、パソコンの電源が切れた状態で「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」から始めます。

アドバイス

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」について

「リカバリCD-ROM起動ディスク」は必ず、本パソコンに添付されていたもののコピーをご使用ください。

▶P.82「「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のコピーを作る」

重要

操作手順について

ここでは、ハードディスクの領域をご購入時の状態に戻す手順を説明しています。ご購入時の状態から領域を変更したい場合は、アドバイスなどをお読みになり、画面のメッセージに従って操作してください。

ご購入時の状態から領域を変更する場合

- C ドライブは必ず「FAT32」に設定してください。
  FAT32 に設定するには、手順 ***5***（▶P.92）で Y（大容量ディスクのサポートを使用可能にする）を押してください。
- 「リカバリ CD-ROM」を実行する領域（基本 MS-DOS 領域）は、2.5GB 以上必要です。容量が少ないと、正常に復元されない場合や、復元後にエラーがひんぱんに表示される場合がありますので、余裕を持って設定してください。
- 作成する領域の数を変更すると、A、C 以外のドライブ名（CD-ROM のドライブ名など）が変更されます。お使いになるときに注意してください。

Save To Disk 領域について

Save To Disk 領域は「領域 3（種類:Non-DOS)」と表示されます。ハードディスクの領域として特に設定し直す必要はありません。ただし Save To Disk 領域を設定し直したい場合は、MS-DOS 領域を作成する前に設定してください。その場合、領域の容量はご購入時から変更されますのでご注意ください。

▶5『FMV 本体 & オプションガイド』「Save To Disk 領域」

1 **パソコンの電源が入っている場合は、一度電源を切ります。**

2 **「リカバリCD-ROM起動ディスク」をフロッピーディスクドライブに差し込みます。**

3 **パソコンの電源を入れます。**

しばらくすると、画面に「Windows98 リカバリメニュー」が表示されます。

4 **2（領域の設定）を押します。**

しばらくすると、「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」というメッセージが表示されます。

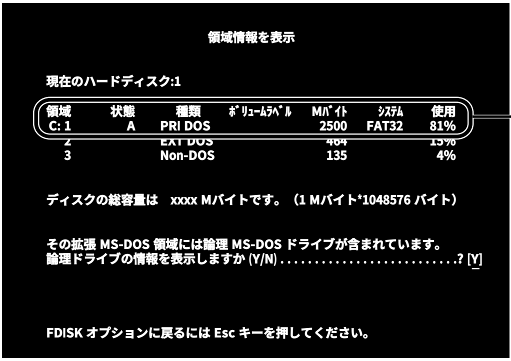
5 **Y を押し、Enter を押します。**

ここでは必ず Y（大容量ディスクのサポートを使用可能にする）を押してください。Y を押すと、領域が「FAT32」に設定されます。
「FDISK オプション」画面が表示されます。

1. 現在の領域を確認する

1 **[4]（領域情報を表示）を押し、[Enter]を押します。**

2 **Cドライブの状態を確認します。**



（お使いの機種により異なります）

項　目	値
状　態	A
種　類	PRI DOS
Mバイト	2500以上 ※
システム	FAT32 または UNKNOWN

※この値は、入力した数値と若干異なって設定される場合があります。

それぞれの値が正しく設定されていることを確認してください。

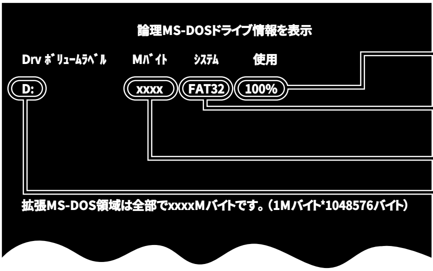
アドバイス

Cドライブ以外の領域の状態を確認するには

手順 ***2***で「領域」に「2」が存在する場合は、Cドライブ以外にも領域が設定されています。その設定を確認する場合は、次のようにしてください。

1 **[Y]を押し、[Enter]を押します。**
「論理MS-DOSドライブ情報を表示」という画面が表示されます。

2 **状態を確認します。**



確認が終わったら、次の手順 ***3***へ進んでください。

3 **［Esc］を押します。**

「FDISK オプション」画面が表示されます。

ハードディスクの状態を確認したら、領域の設定を行います。

このあとは

- **すべての値が正しく設定されていた場合**

  ［Esc］を押し、領域の設定を終了します。ふりだしにもどす場合は、「パソコンをふりだしにもどす」（••▶P.1）へお進みください。

- **Cドライブで正しく設定されていない項目が1つでもあった場合（または領域を変更したい場合）**

  領域を設定し直す必要があります。

  ••▶P.94「2．現在の領域を削除する」

- **手順 *2* で「領域は定義されていません」と表示された場合**

  領域が削除されています。

  『FMV 本体＆オプションガイド』をご覧になり、Save To Disk領域を作成してから、「3．基本 MS-DOS 領域を作成する」（••▶P.97）へお進みください。

2．現在の領域を削除する

領域の削除は、次の順番で行います。

拡張 MS-DOS 領域内の論理ドライブ（D 以降のドライブ）の削除

↓

拡張 MS-DOS 領域の削除

↓

基本 MS-DOS 領域（C ドライブ）の削除

拡張 MS-DOS 領域内の論理ドライブの削除

1 **［3］（領域または論理MS-DOSドライブを削除）を押し、［Enter］を押します。**

「MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを削除」画面が表示されます。

2 **3（拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブを削除）を押し、Enter を押します。**

「どのドライブを削除しますか」というメッセージが表示されます。

3 **D を押し、Enter を押します。**

「D」は削除するハードディスクのドライブ名です。
「ボリュームラベルを入力してください」というメッセージが表示されます。

4 **Enter を押します。**

アドバイス

ボリュームラベルを付けている場合
一覧の「ボリュームラベル」欄にボリュームラベルが表示されている場合は、その名前を入力してから Enter を押してください。

「よろしいですか」というメッセージが表示されます。

5 **Y を押し、Enter を押します。**

D の論理 MS-DOS ドライブが削除されます。

アドバイス

E:、F: …とさらに領域を分けて使用していた場合
手順 ***3***〜手順 ***5*** を繰り返し、論理 MS-DOS ドライブをすべて削除してください。その場合、手順 ***3*** では、削除する領域のドライブ名を入力します。

「拡張 MS-DOS 領域の論理ドライブはすべて削除されました .」というメッセージが表示されます。

6 **Esc を押します。**

「論理ドライブは定義されていません .」というメッセージが表示されます。

7 **Esc を押します。**

「FDISK オプション」画面に戻ります。

拡張 MS-DOS 領域の削除

8 **3（領域または論理MS-DOSドライブを削除）を押し、Enterを押します。**

「MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを削除」画面が表示されます。

9 **2（拡張 MS-DOS 領域を削除）を押し、Enterを押します。**

「続けますか」というメッセージが表示されます。

10 **Yを押し、Enterを押します。**

「拡張 MS-DOS 領域を削除しました .」というメッセージが表示されます。

11 **Escを押します。**

「FDISK オプション」画面に戻ります。

基本 MS-DOS 領域の削除

12 **3（領域または論理MS-DOSドライブを削除）を押し、Enterを押します。**

「MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを削除」画面が表示されます。

13 **1（基本 MS-DOS 領域を削除）を押し、Enterを押します。**

「どの基本領域を削除しますか」というメッセージが表示されます。

14 **1を押し、Enterを押します。**

「ボリュームラベルを入力してください」というメッセージが表示されます。

15 **Enterを押します。**

アドバイス

ボリュームラベルを付けている場合

一覧の「ボリュームラベル」欄にボリュームラベルが表示されている場合は、その名前を入力してからEnterを押してください。

「よろしいですか」というメッセージが表示されます。

16 [Y] を押し、[Enter] を押します。

「基本 MS-DOS 領域を削除しました .」というメッセージが表示されます。

17 [Esc] を押します。

「FDISK オプション」画面に戻ります。

3. 基本 MS-DOS 領域を作成する

1 [1]（MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成）を押し、[Enter] を押します。

2 [1]（基本 MS-DOS 領域を作成）を押し、[Enter] を押します。

しばらくすると、「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか」というメッセージが表示されます。

3 [N] を押し、[Enter] を押します。

アドバイス

[Y] を押すと

ハードディスク全体が基本 MS-DOS 領域に割り当てられます（C と D に分けられていた領域が C ドライブにまとめられます)。

1 **[Y] を押し、[Enter] を押します。**
「変更を有効にするには，コンピュータを再起動してください .」というメッセージが表示されます。

2 **[Esc] を押します。**
画面に「A:\ >」と表示されます。

このあとは、「パソコンをふりだしにもどす」（••▶ P.1）へお進みください。

ハードディスクの領域を設定する

4 **「2500」と入力し、[Enter] を押します。**

ご購入時は、2500MBに設定されています。入力した値は、若干異なって設定される場合があります。

アドバイス

基本 MS-DOS 領域を自由に設定したい場合

基本 MS-DOS 領域は 2500MB 以上に設定してください。

5 **[Esc] を押します。**

「FDISK オプション」画面に戻ります。

6 **[2]（アクティブな領域を設定）を押し、[Enter] を押します。**

「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」というメッセージが表示されます。

7 **[1] を押し、[Enter] を押します。**

「領域 1 がアクティブになりました .」というメッセージが表示されます。

8 **[Esc] を押します。**

「FDISK オプション」画面に戻ります。

次に、拡張 MS-DOS 領域を作成します。

4. 拡張 MS-DOS 領域を作成する

1 **[1]（MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成）を押し、[Enter] を押します。**

2 **[2]（拡張 MS-DOS 領域を作成）を押し、[Enter] を押します。**

3 そのまま Enter を押します。

「拡張 MS-DOS 領域を作成しました.」というメッセージが表示されます。

4 Esc を押します。

「拡張 MS-DOS 領域内に論理 MS-DOS ドライブを作成」画面が表示されます。

5 残りをすべて D ドライブとする場合は、表示されている値（最大値）を確認し、Enter を押します。

アドバイス

E:、F: …とさらに領域を分けて使用するには

手順 ***5*** でそのまま Enter を押さず、ドライブの容量を[　　　　]に入力してから、Enter を押します。「拡張 MS-DOS 領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています.」と表示されるまで、繰り返してください。

6 「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています.」と表示されたら、Esc を押します。

「FDISK オプション」画面に戻ります。

アドバイス

設定した領域を確認する

領域の設定が終わったら、間違いなく設定されたか確認することをお勧めします。「1.現在の領域を確認する」（••▶ P.93）をご覧になり、作成したドライブすべてを確認してください。正しく設定されていたら、次の手順 ***7***（••▶ P.99）へ進んでください。

7 Esc を押します。

「変更を有効にするには, コンピュータを再起動してください.」というメッセージが表示されます。

8 **Esc を押します。**

画面に「A:\>」と表示されます。

9 **「リカバリ CD-ROM起動ディスク」をフロッピーディスクドライブから取り出します。**

このあとは

••▶ P.1「パソコンをふりだしにもどす」

MicrosoftおよびWindows、MS、MS-DOS、Bookshelfは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Lotus は、Lotus Development Corporation の登録商標です。
1-2-3 と Notes は、Lotus Development Corporation の商標です。
一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 1999
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

パソコンをふりだしにもどす本

B3FH-5051-02-01

発 行 日　1999 年2月

発行責任　富士通株式会社

Printed in Japan

●本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
●本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
●無断転載を禁じます。
●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

㋐ 9902-1

FMV SERIES

パソコンマニュアル紹介

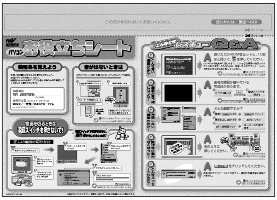
ここでは、マニュアルの主な内容を紹介しています。

初めての方は…

『かるがるパソコン入門』
・基本の操作を覚える
・文字を打つ

CD-ROMが
付いています

『お役立ちシート』
・お手元に置いてお使いください。



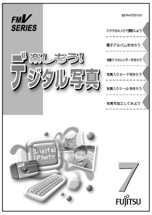
FMVを使いこなそう!

『まるごとEnjoy FMV』
・FMVでできること
・地図で調べる
・電車の経路を調べる
・はがきを作る

『はじめよう! インターネット』
・インターネットをはじめる
・ホームページを見る
・Eメールで手紙を出す

5時間
無料体験付き

『楽しもう! デジタル写真』
・デジタルカメラで写真を撮る
・写真でカレンダーを作る
・電子アルバムを作る



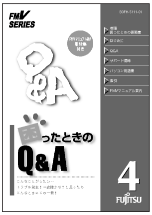
※次の機種には添付されません。
FMV-DESKPOWER MⅨ36L/MⅨ367/MⅨ365
FMV-BIBLO NEⅨ26/NSⅨ26X/MFⅨ26

パソコンの取り扱いは

『FMV 本体&オプションガイド』
・各部の名前を知る
・プリンタをつなぐ
・メモリを増やす
・ハードディスクを増やす

トラブル解決!

『困ったときのQ&A』
・困ったときの画面集
・画面の設定を変える
・サポート情報
・パソコン用語集



『パソコンをふりだしにもどす本』
・買ってきた状態にもどす

パソコンのしくみを知る

『パソコンがおもしろくなる本』
・パソコンのしくみを知る
・使いかたのコツをつかむ

ちきゅうにやさしい
みどりをまもる

T4988618872492

このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。